

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第39週 > 水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同
時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-7

< 流行性耳下腺炎 >

2006年第39週までの累積報告数は163,678と、2005年の同時
期を大きく上回っており、2002年以降では最多である



病原体情報
P.8-11

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン / エコーウイルス18型
2006年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006
年



速報
P.12-14

平成18年度(2006/07シーズン)インフルエンザワクチン株の選定
経過



海外感染症情報

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話
P.15

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(39週)
P.16-22



39週のデータ
P.23-34



発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

< 第39週コメント > 10月5日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

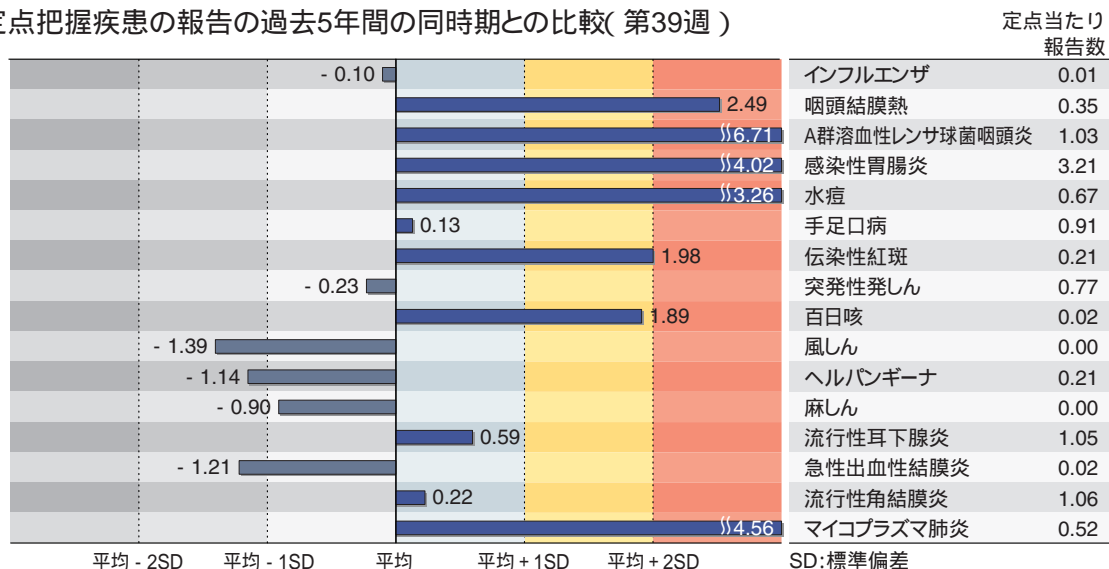
感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ 2例〔感染地域: 神奈川県1例、国内(都道府県不明)1例〕
細菌性赤痢 21例
(感染地域: 石川県3例*、宮城県1例、鳥取県1例、中国4例、インド4例、タイ2例、インドネシア2例、モンゴル1例、パキスタン1例、モロッコ1例、グルジア1例)
*第38週の9例と同じ飲食店における集団発生
- 3類感染症: パラチフス 1例(感染地域: 中国)
腸管出血性大腸菌感染症 89例(うち有症者52例、HUS 2例)
感染地域: 国内84例、中国4例、国内外不明1例
国内の多い感染地: 東京都(8例)、宮城県(8例)、愛知県(7例)
年齢群: 10歳未満(27例)、10代(15例)、20代(18例)、30代(13例)、40代(8例)、50代(4例)、60代(1例)、70歳以上(3例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(35例)、O157 VT2(29例)、O26 VT1(7例)、O157 VT1(3例)、O111 VT1・VT2(2例)、O145 VT1(2例)、O26 VT1・VT2(2例)、O1 VT1(1例)、O103 VT1(1例)、O145 VT2(1例)、O165 VT2(1例)、その他/不明(5例)
- 4類感染症: E型肝炎 1例(感染地域: 国内(都道府県不明))
A型肝炎 3例
〔感染地域: 秋田県1例、国内(都道府県不明)1例、パキスタン1例〕
つつが虫病 2例(感染地域: 青森県1例、福島県1例)
デング熱 2例(感染地域: タイ1例、インド1例)
日本脳炎 1例(感染地域: 熊本県、60代)
ブルセラ症 1例(感染地域: 長野県)
ポツリヌス症 1例(乳児ポツリヌス症)
レジオネラ症 11例(肺炎型10例、ポンティアック型1例)
年齢群: 40代1例、50代4例、60代1例、70代3例、80代2例
感染地域: 愛知県2例(うち1例温泉)、岩手県1例(温泉)、福島県1例、東京都1例、富山県1例(温泉)、岐阜県1例、京都府1例、島根県1例、熊本県1例(温泉)、鹿児島県1例
- 5類感染症: アメーバ赤痢 14例(腸管アメーバ症13例、腸管外アメーバ症1例)
感染地域: 国内9例、タイ1例、韓国1例、米国1例、タイ/ベトナム1例、東南アジア1例
感染経路: 経口5例、性的接触4例(異性間1例、同性間2例、異性間・同性間不明1例)、不明5例
- ウイルス性肝炎 3例 B型1例〔感染経路: 性的接触(異性間)〕
C型2例(感染経路: 鋭利なものの刺入1例、不明1例)
- 急性脳炎 2例(ともに病原体不明、0歳、18歳)
- クリプトスポリジウム症 1例(感染地域: 国内)
- クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性プリオン病古典型)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(血清型: A群、60代)
- 後天性免疫不全症候群 21例(無症候12例、AIDS 8例、その他1例)
感染地域: 国内16例、タイ1例、国外(国不明)1例、国内・国外不明3例
感染経路: 性的接触18例(異性間7例、同性間8例、異性間/同性間1例、異性間・同性間不明2例)、不明3例
- 梅毒 5例(早期顕症1期1例、早期顕症II期2例、晩期顕症1例、無症候1例)
- 破傷風 1例(90代)
- (補)他に報告遅れとして、細菌性赤痢2例(感染地域: 中国1例、疑似症1例)、腸チフス1例(感染地域: インドネシア)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第39週)



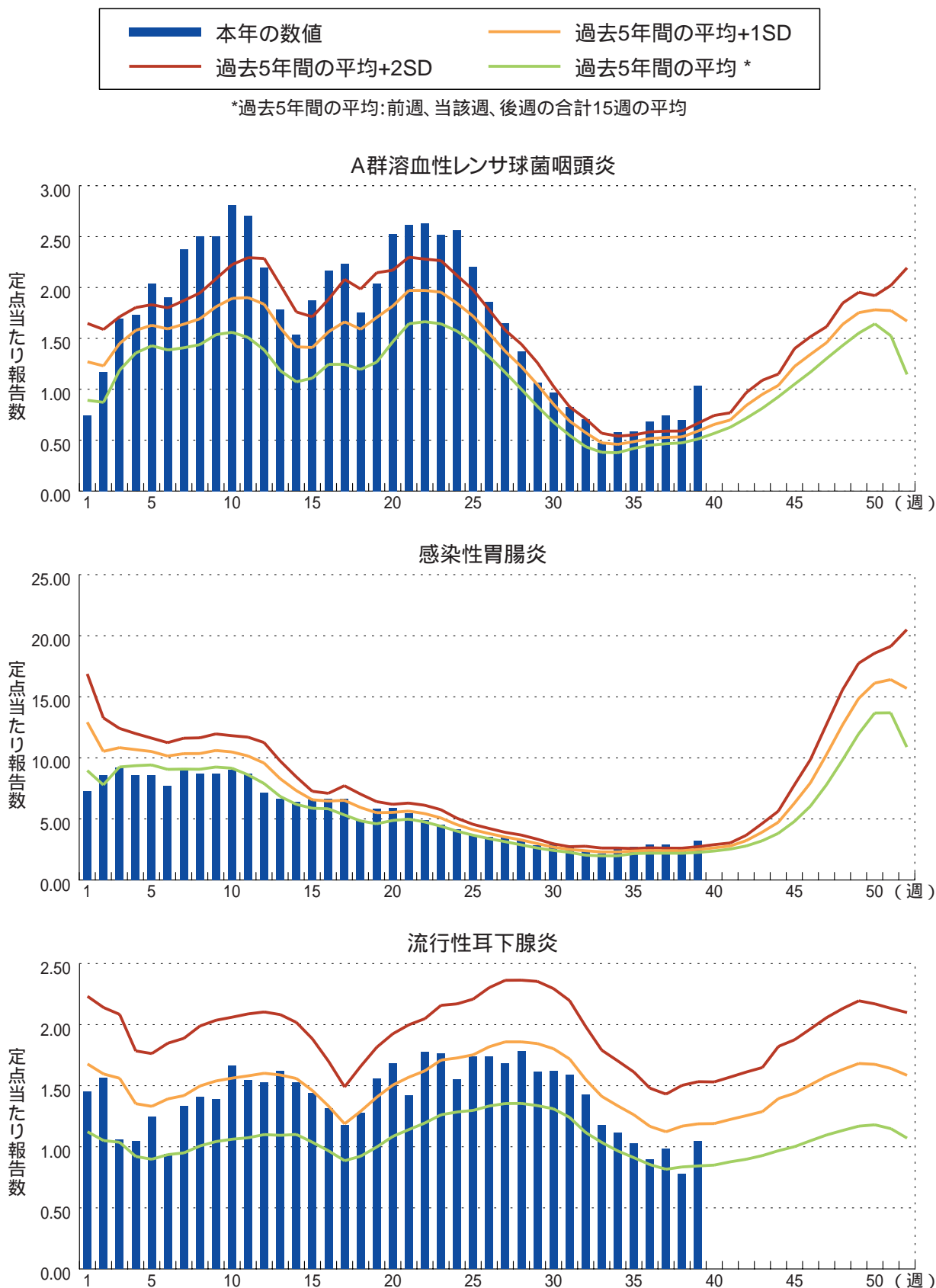
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ: 定点当たり報告数は微増した。都道府県別では沖縄県(0.10)、宮崎県(0.07)、岐阜県(0.05)が多い。

小児科定点報告疾患: RSウイルス感染症は128例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約70%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続して減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では大分県(0.97)、秋田県(0.83)、長野県(0.80)、三重県(0.80)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では福島県(2.5)、鳥取県(2.3)、北海道(2.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では熊本県(6.8)、大分県(6.4)、静岡県(6.1)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮崎県(1.5)、群馬県(1.2)、徳島県(1.2)が多い。手足口病の定点当たり報告数は3週連続して減少した。都道府県別では新潟県(3.5)、石川県(3.1)、長野県(2.8)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮城県(0.49)、岐阜県(0.47)、宮崎県(0.46)が多い。百日咳の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では徳島県(0.16)、千葉県(0.11)、岐阜県(0.06)、和歌山県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では山梨県(0.13)、岡山県(0.07)、香川県(0.06)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では宮城県(0.77)、北海道(0.55)、福島県(0.35)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では兵庫県から2例(0.02)、東京都(0.01)、神奈川県(0.01)から各1例ずつの報告である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(3.7)、鹿児島県(2.8)、宮崎県(2.3)が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府(2.3)、埼玉県(1.7)、富山県(1.6)が多い。成人麻しんは沖縄県から2例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1 ~ 39週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎(mumps : ムンプス)は、2 ~ 7歳の児を中心とした小児に好発する疾患である(図1)。2 ~ 3週間の潜伏期(平均18日前後)を経て発症し、片側あるいは両側性の唾液腺(耳下腺が最も多い)の有痛性腫脹を特徴とするウイルス感染症である。不顕性感染が3分の1程度認められ、発症しても、通常は1 ~ 2週間で軽快する予後良好の疾患であるが、無菌性髄膜炎をはじめ、髄膜脳炎、難聴、睾丸炎、卵巣炎、膵炎等の種々の合併症を起こす場合がある。感染経路はヒト - ヒト間の飛沫感染、接触感染であり、特に保育所等、ムンプスウイルスに免疫を持たない乳幼児の施設では、しばしば集団発生が認められている。また成人での発症例では、髄膜炎、精巣炎、熱性痙攣、難聴、膵炎などの合併症によって入院する例が比較的多い。

流行性耳下腺炎の1982年以降の週別定点当たり報告数をみると、1980年代は3 ~ 4年周期で大きな流行を繰り返していたが、1990年代はピークが低くなり、2000年代に入るとピークがやや高くなる傾向にある(図2)。これは、MMRワクチンを含めたムンプス関連ワクチンの接種率に関係しているものと思われる。2000 ~ 2005年の年別累積報告数をみると、2004年、2005年と2年連

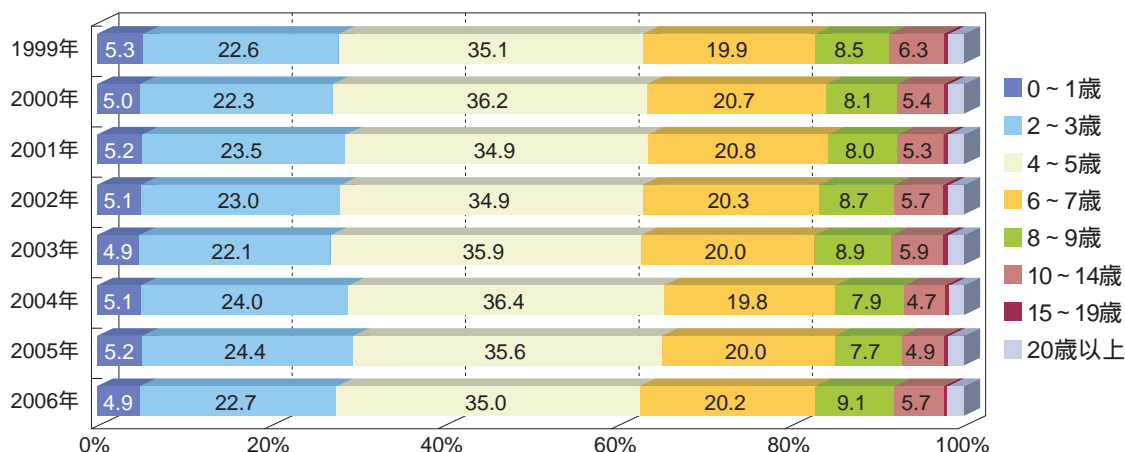


図1. 流行性耳下腺炎の報告症例の年別・年齢群別割合(1999年 ~ 2006年第39週)

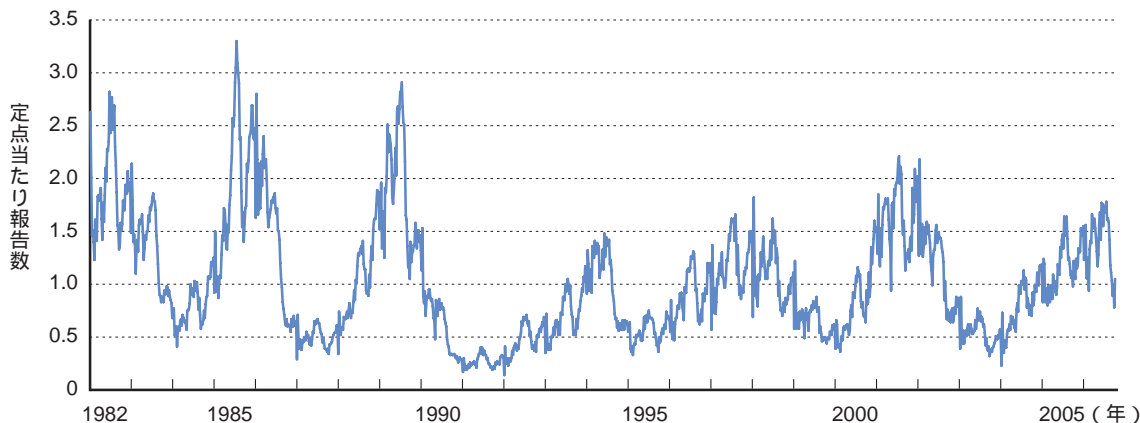


図2. 流行性耳下腺炎の年別・週別発生状況(1982年 ~ 2006年第39週)

続して増加がみられているが(図3)、2006年についても、第39週までの累積報告数は163,678と、2005年の同時期(135,422)を大きく上回っており、2002年以降では最多である。過去10年間との週別比較においても、そのことが推測される(図4)。

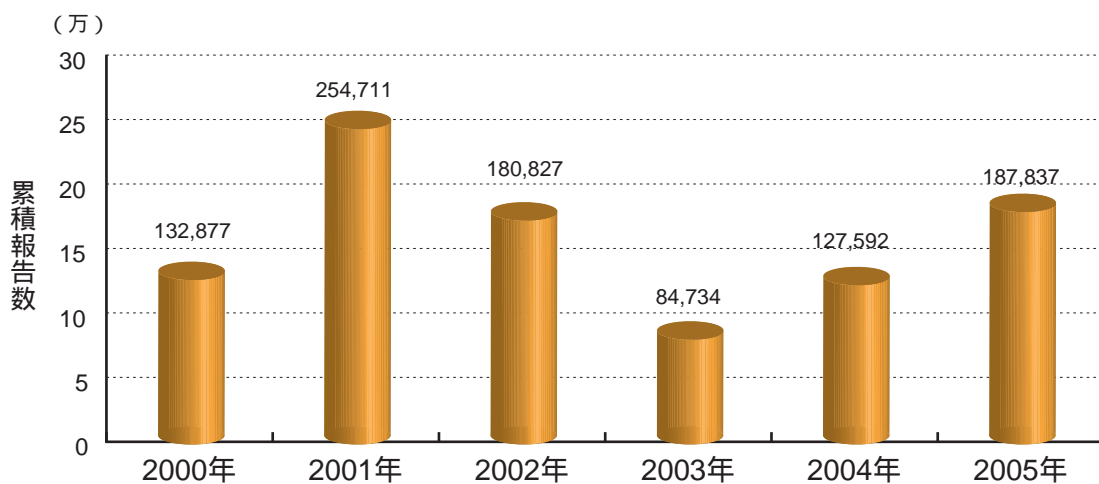


図3. 流行性耳下腺炎の年別発生状況(2000 ~ 2005年)

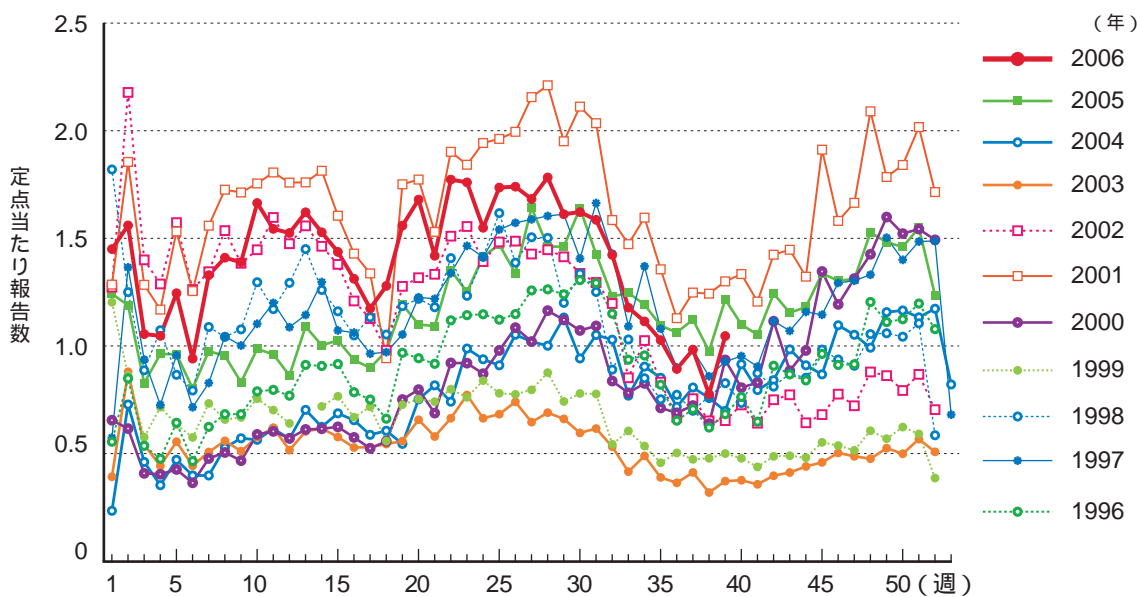


図4. 流行性耳下腺炎の年別・週別発生状況(1996年 ~ 2006年第39週)

都道府県別にみると、2006年第1～39週の定点当たり累積報告数では鹿児島県(152.2)、長野県(127.9)、鳥取県(106.2)、新潟県(105.9)、沖縄県(101.9)の順であるが(図5)、最近では特に、新潟県からの報告の増加が目立っている(図6)。

国内における流行性耳下腺炎の発生は相変わらず高いレベルが続いており、また、2006年は周期的な流行のピークにあたる可能性がある。今後とも、流行地域を中心とした本疾患の流行状況、発生動向には注意が必要である。

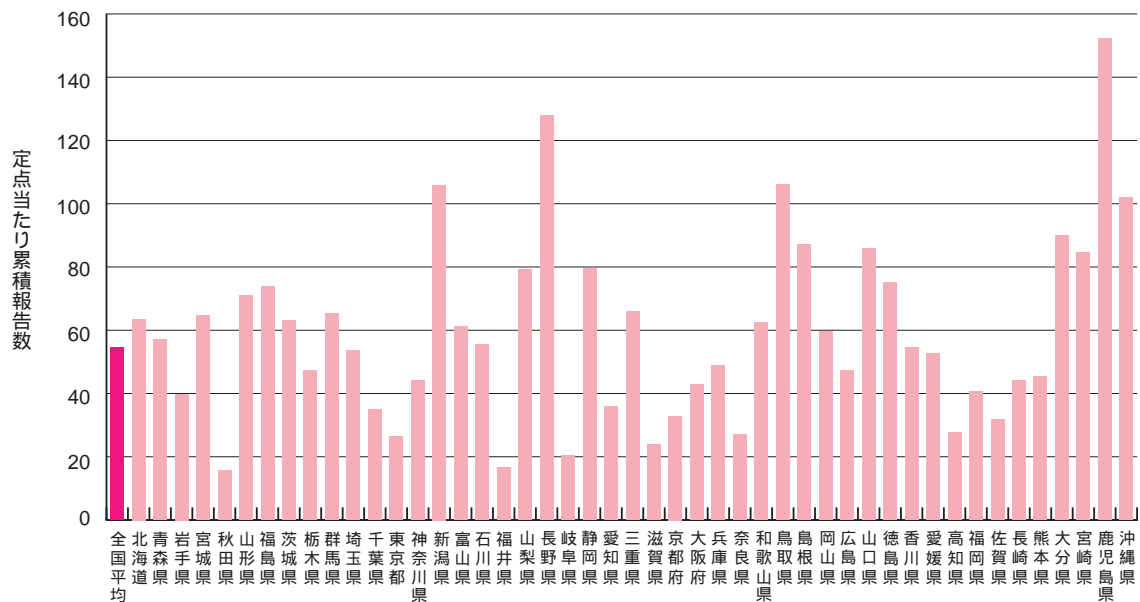


図5. 流行性耳下腺炎の都道府県別報告状況(2006年第1～39週)

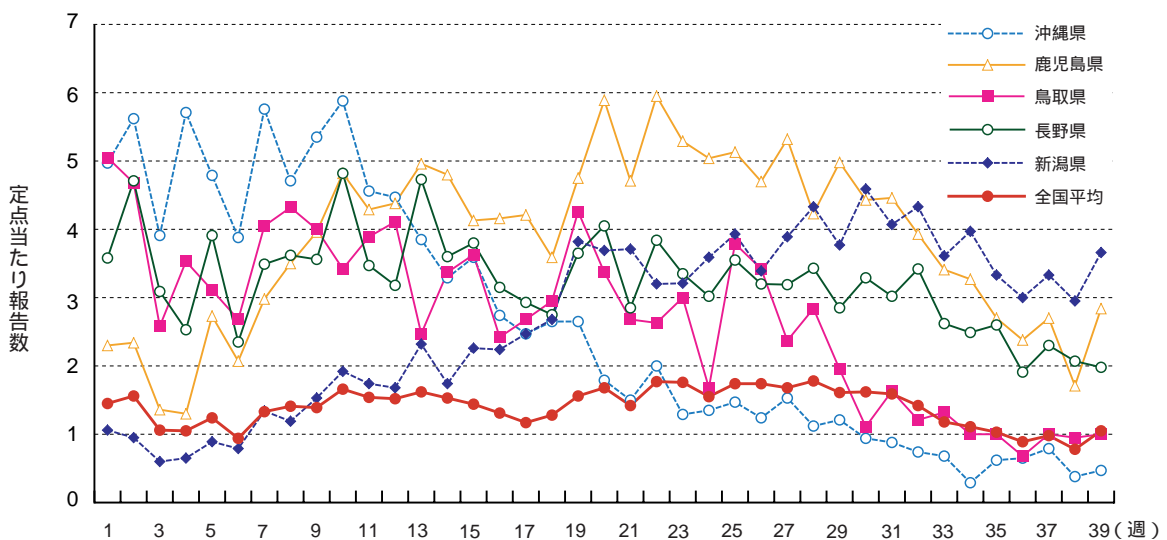


図6. 主要都道府県における流行性耳下腺炎の週別推移(2006年第1～39週)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

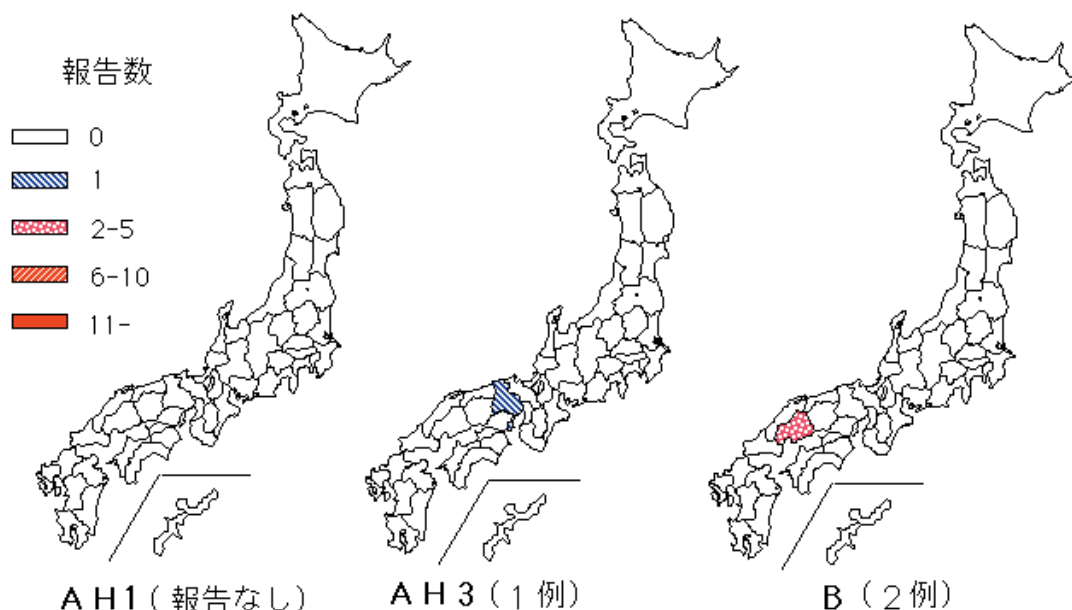
(2006年10月5日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

第37週に兵庫県でフィリピンから帰国後発症した患者から、AH3型がPCRで検出されている。第38週には広島県でB型が2件分離され、地域での小流行が報告されている(前号「速報」参照)。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン

(病原微生物検出情報 : 2006年10月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

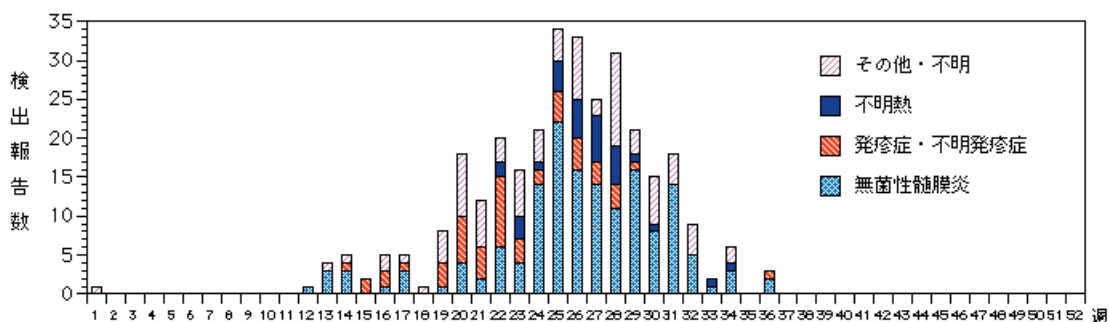
エコーウイルス18型 2006年

第25~28週をピークとして、西日本を中心に広い地域から計316件の検出が報告されている。

検出例の診断名は、無菌性髄膜炎が154件と約半数を占める他、発疹症・不明発疹症49件、不明熱30件、上気道炎16件、感染性胃腸炎9件、インフルエンザ、ヘルパンギーナ各6件、咽頭結膜熱5件、手足口病、夏かぜ各4件などである。

週別Echovirus 18分離・検出報告数、2006年

(病原微生物検出情報：2006年10月5日現在報告数)

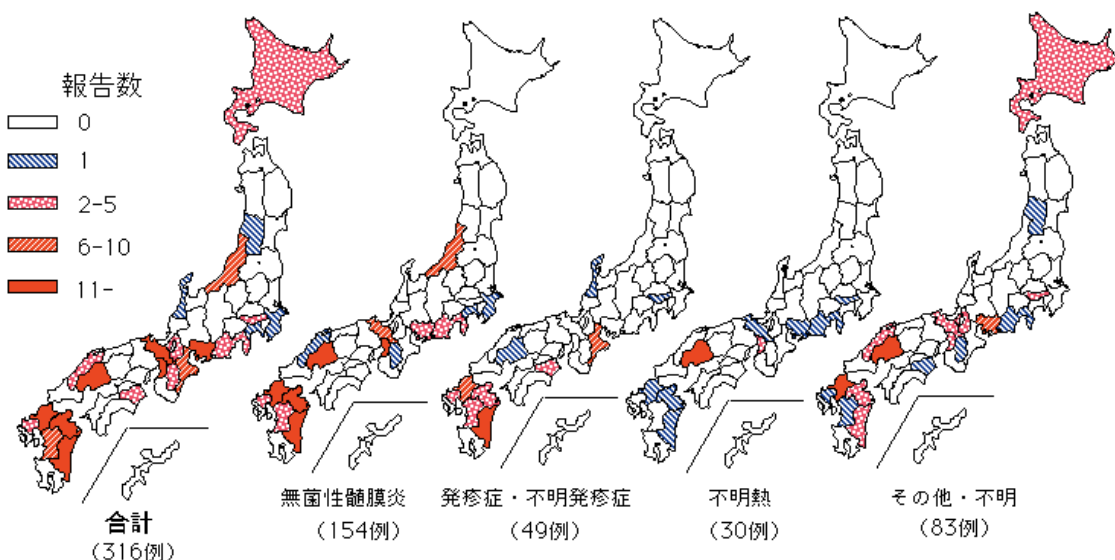


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



都道府県別診断名別Echovirus 18分離・検出報告状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年10月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。

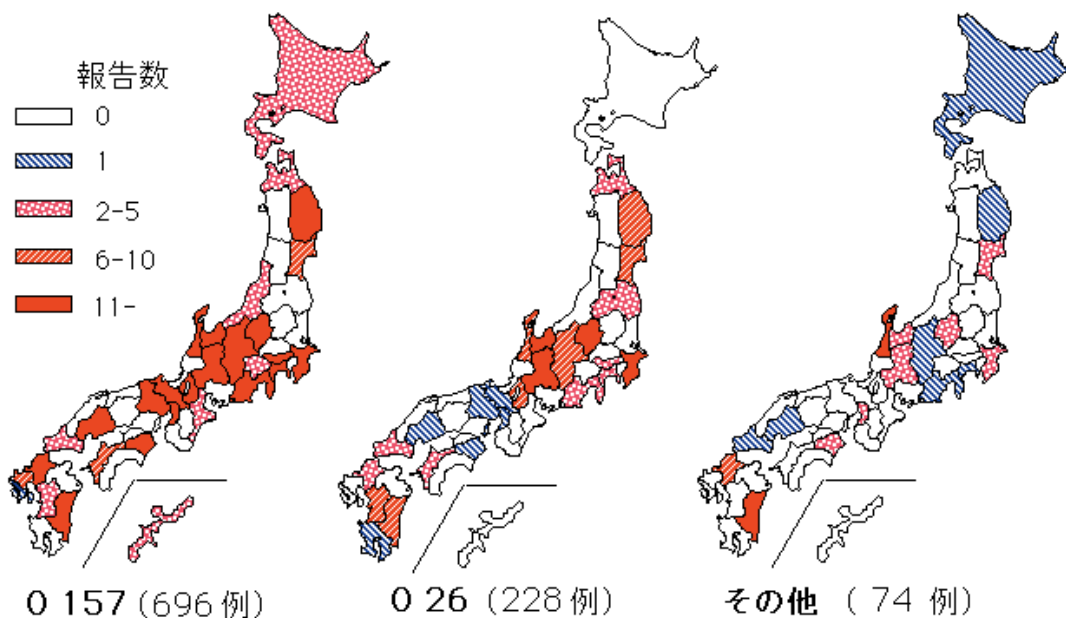


ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年

2006年の検出総数は998件で、O157が696件、O26が228件、その他の血清型が74件報告されている。第35週に富山県で、第36～37週に徳島県で、O157による保育所での集団発生が報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年10月5日現在報告数)



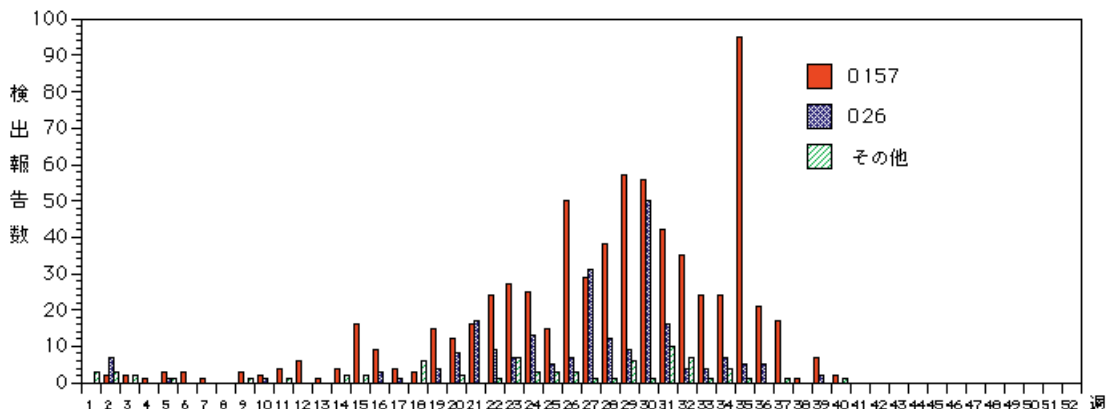
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2006年

(病原微生物検出情報：2006年10月5日現在報告数)



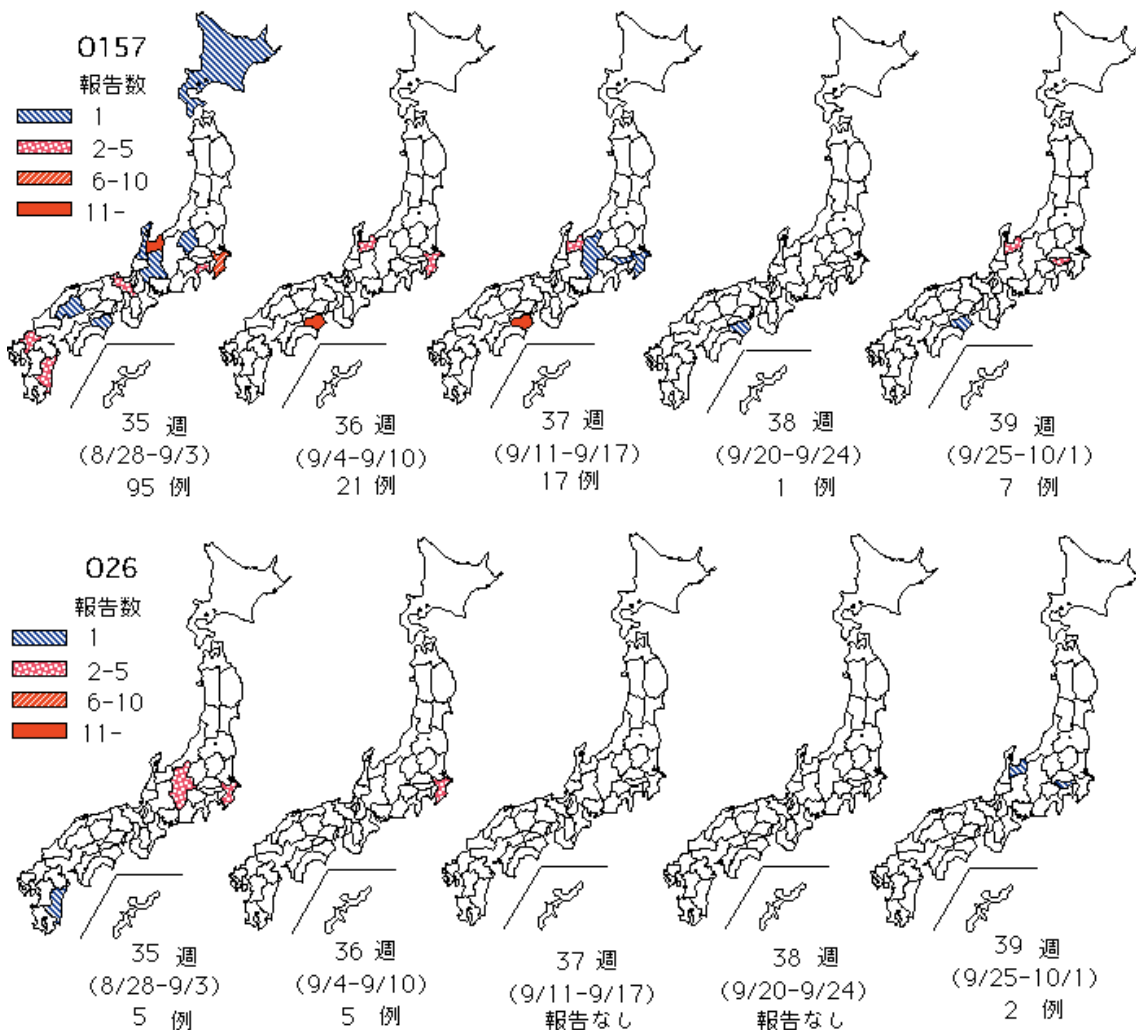
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年第35週～第39週

(病原微生物検出情報：2006年10月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



平成18年度(2006/07シーズン)インフルエンザワクチン株の選定経過

わが国におけるインフルエンザワクチン製造株の決定過程は、厚生労働省健康局の依頼に応じて国立感染症研究所(感染研)が検討し、これに基づいて厚生労働省が決定・通達している。感染研では、全国76カ所の地方衛生研究所と感染研、厚生労働省結核感染症課を結ぶ感染症発生動向調査事業により得られた流行状況、および約6,000株に及ぶ分離ウイルスについての抗原性や遺伝子解析の成績、感染症流行予測事業による住民の抗体保有状況調査の成績などに基づいて、前年度の11～12月に次年度シーズンの予備的流行予測を行い、これに対するいくつかのワクチン候補株を選択する。さらにこれらについて、発育鶏卵での増殖効率、抗原的安定性、免疫原性、エーテル処理効果などのワクチン製造株としての適格性を検討する。一方、年が明けた1月下旬から数回にわたり所内外のインフルエンザ専門家を中心とする検討委員会が開催され、上記の前シーズンの成績、およびその年のインフルエンザシーズンにおける最新の成績を検討して、次シーズンの流行予測を行う。さらにWHOにより2月中旬に出される北半球次シーズンに対するワクチン推奨株とその選定過程、その他の外国における諸情報を総合的に検討して、3月までに次シーズンのワクチン株を選定する。感染研はこれを厚生労働省健康局長に報告し、これに基づいて厚生労働省医薬食品局長が決定して5～6月に公布している。

平成18年度(2006/07シーズン)に向けたインフルエンザワクチン株は、

A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)

A/広島/52/2005(H3N2)

B/マレーシア/2506/2004

であり、以下にその選定経過を述べる。

1 . A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)

わが国では、A/H1N1型(ソ連型)ウイルスの流行は昨シーズンから小さいながら見られるようになり、2005/06シーズンは全分離株の25%にあたる1,330株が分離された。分離株の94%はワクチン株であるA/ニューカレドニア/20/99類似株であったが、HAの抗原部位中にアミノ酸置換を伴った(K140E)変異株も少数みられた。中国、韓国など他のアジア諸国や欧米諸国、南半球諸国においても同様にA/H1N1ウイルスの流行が広がる傾向がみられるが、分離株の大半はA/ニューカレドニア/20/99類似株であった。一方、昨シーズンと同様に2001/02シーズンに出現した遺伝子再集合体であるA/H1N2ウイルスは世界中のどの地域からも分離されなかった。このことから、WHOでは北半球2006/07シーズンのワクチン株として、昨年に引き続きA/ニューカレドニア/20/99類似株を推奨した。

感染症流行予測事業による抗体保有状況調査においては、A/ニューカレドニア/20/99に対する抗体保有状況は15～19歳群で72%と最も高く、5～14歳群と20～24歳群では50%を超えていた。しかし、25～54歳群と65～69歳群以降の年齢群では27～38%、4歳以下の幼児と55～64歳の年齢層では20%以下の抗体保有率であった。したがって、これら抗体保有率が十分でない年齢層に対しては、この株に対する免疫増強の必要性が示唆された。

A/ニューカレドニア/20/99は過去6シーズンにわたってワクチン株として用いられており、製造効率および有効性において実績がある。

以上のことから、2006/07シーズンのA/H1N1型ワクチン株として、昨年と同様にA/ニューカレドニア/20/99を選定した。

2 . A/広島/52/2005(H3N2)

わが国における2005/06シーズンのインフルエンザの流行はA/H3N2(香港型)が主流で、分離株総数の65%を占めた。これら分離株の79%はワクチン株のA/ニューヨーク/55/2004からHI試験で抗原性に4倍以上の違いがみられたが、67%の株はA/ウィスコンシン/67/2005やA/広島/52/2005に対するフェレット感染血清とよく反応した。一方、HA遺伝子の系統樹解析においても、2005/06シーズン分離株の大多数は、前シーズンの主流株であるA/カリフォルニア/7/2004類似株とは明確に区別され、A/ウィスコンシン/67/2005やA/広島/52/2005に代表される193Fおよび225Nのアミノ酸をもつ一群を形成した。すなわち、A/H3N2型の流行はA/カリフォルニア/7/2004類似株からA/ウィスコンシン/67/2005類似株に移行してきていることが示された。

A/ニューヨーク/55/2004株ワクチンの接種を受けた人の血清抗体は、2005/06シーズンの主流株となったA/ウィスコンシン/67/2005類似株(A/ウィスコンシン/67/2005のほか、A/広島/52/2005、A/安徽/1239/2005など)との交叉反応は若干低い傾向にある。来シーズンには流行の主流がA/ウィスコンシン/67/2005類似株に移行することが推測されることから、これらの株に対してより強い免疫を与えるためには、ワクチン株をA/ウィスコンシン/67/2005類似株のウイルスに変更することが必要である。

諸外国ではA/H3N2型の占める割合は全体の3 ~ 4割であり、2005/06シーズンはじめはA/カリフォルニア/7/2004類似株が多かったが、A/ウィスコンシン/67/2005類似株が急増し半数以上を占めた。このことから、WHOはA/H3N2型のワクチン株としてA/ウィスコンシン/67/2005類似株を推奨した。

抗体保有状況調査においては、ワクチン株A/ニューヨーク/55/2005に対する抗体保有状況は5 ~ 19歳群では57 ~ 72%と高い値を示した。しかし、0 ~ 4歳群および20 ~ 24歳群以降の成人層では35%以下であり、特に45 ~ 69歳群では約20%前後と低い抗体保有率であった。流行株がA/カリフォルニア/7/2004類似株からA/ウィスコンシン/67/2005類似株に移行しており、2006/07シーズンもA/H3N2が流行の主流になることも考えられるので、A/ウィスコンシン/67/2005類似株によるワクチン接種が望まれる。

ワクチン製造株としては発育鶏卵で分離され、しかも発育鶏卵で増殖性が高いことが必須条件となるため、A/ウィスコンシン/67/2005類似株であるA/ウィスコンシン/67/2005とA/広島/52/2005について、発育鶏卵での増殖性および継代による抗原性の安定性について検討した。その結果、両株とも発育鶏卵で比較的良好に増殖し、継代してもHA遺伝子は安定であり抗原性の変化もないことが示されたが、A/広島/52/2005の方が増殖性は優れていた。したがって、A/広島/52/2005がワクチン製造株として適当であると判断された。

以上のことから、2006/07シーズンのA/H3N2型のワクチン株として、A/広島/52/2005を選定した。

3 . B/マレーシア/2506/2004

2005/06シーズンにおいては、わが国のB型の流行は小さく分離株総数の10%であった。B型インフルエンザウイルスは、1980年代後半から抗原的にも遺伝子的にも区別されるB/ビクトリア/2/87株を代表とするビクトリア系統とB/山形/16/88を代表とする山形系統に二分される。2003

年から2シーズンは山形系統株がB型分離株の99%を占めていたが、2005/06シーズンの分離株はすべてビクトリア系統株であり、B型の流行が山形系統からビクトリア系統にかわったことが示された。これら分離株の83%は2シーズン前のわが国のビクトリア系統ワクチン株B/山東/7/97が含まれるB/香港/330/2001類似株から抗原性が大きく変化しており、2006シーズンの南半球のB型ワクチン株であるB/マレーシア/2506/2004と類似していた。

一方、諸外国におけるB型インフルエンザの流行は、わが国とはやや異なり、流行全体の3~4割を占め増加する傾向がみられた。分離株の10~20%は山形系統であったが、大半はビクトリア系統であり、南半球諸国でもこの系統に属する株が増加する傾向がみられている。これらビクトリア系統分離株の約7割はB/マレーシア/2506/2004類似株であった。北半球ではここ2シーズンは山形系統がワクチン株として採用されており、ビクトリア系統のウイルスに対する抗体保有率が低いことが推定されたので、WHOでは2006/07シーズンのB型ウイルスワクチンに南半球で使用実績のあるB/マレーシア/2506/2004を推奨した。

わが国の各年齢層における抗体保有状況についてみると、前シーズンは山形系統のワクチン株B/上海/361/2002類似株が流行の主流であり、全年齢層でこれに対する高い抗体保有率がみられ、特に10~24歳群では57~67%と高いことが示された。これに対して、ビクトリア系統株に対する抗体保有率は全年齢層で25%未満と低く、ここ2シーズン流行がなかったこともこの結果に反映されていると考えられた。流行株が山形系統からビクトリア系統に移行しており、2006/07シーズンもビクトリア系統株がB型の流行の主流になると考えられるので、B/マレーシア/2506/2004類似株によるワクチン接種が望まれる。

B/マレーシア/2506/2004類似株の中からB/マレーシア/2506/2004とB/オハイオ/1/2005について、発育鶏卵での増殖性および継代による抗原性の安定性について検討した。その結果、両株とも発育鶏卵でよく増殖し、継代しても抗原性の変化はないことが示されたが、B/マレーシア/2506/2004の方が増殖性は若干優れていた。したがって、B/マレーシア/2506/2004がワクチン製造株として適当であると判断された。

以上のことから、2006/07シーズンのB型ウイルスワクチンにはビクトリア系統からB/マレーシア/2506/2004を選定した。

国立感染症研究所ウイルス第三部、WHOインフルエンザ協力センター

小淵正次 小田切孝人 田代真人

(IASR 2006年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

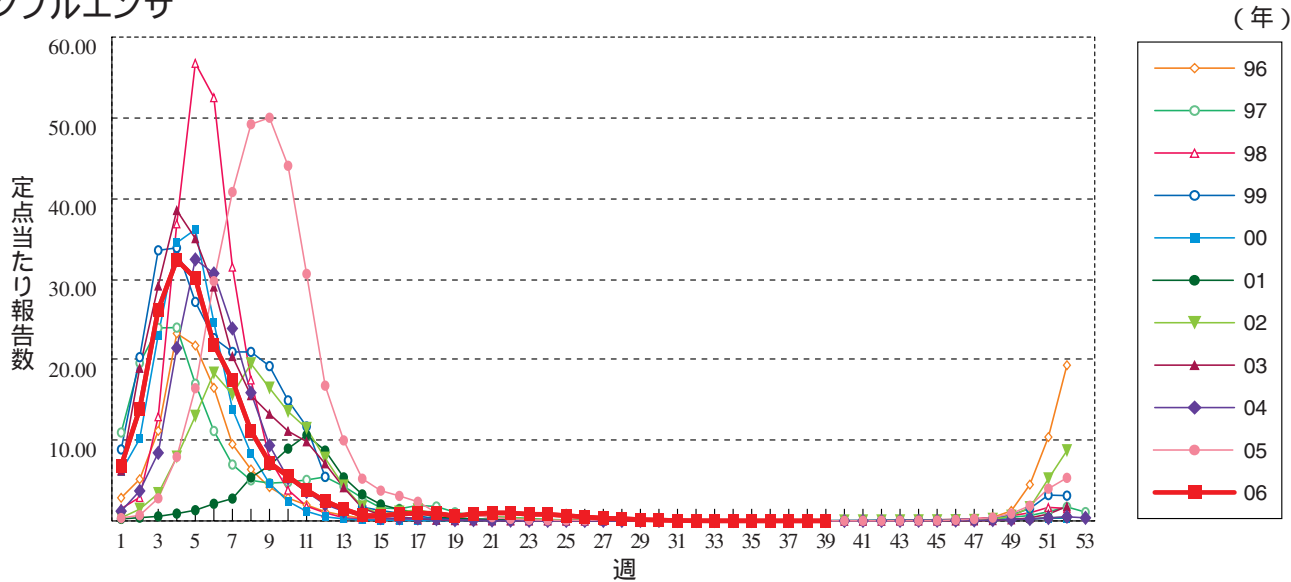


感染症の話

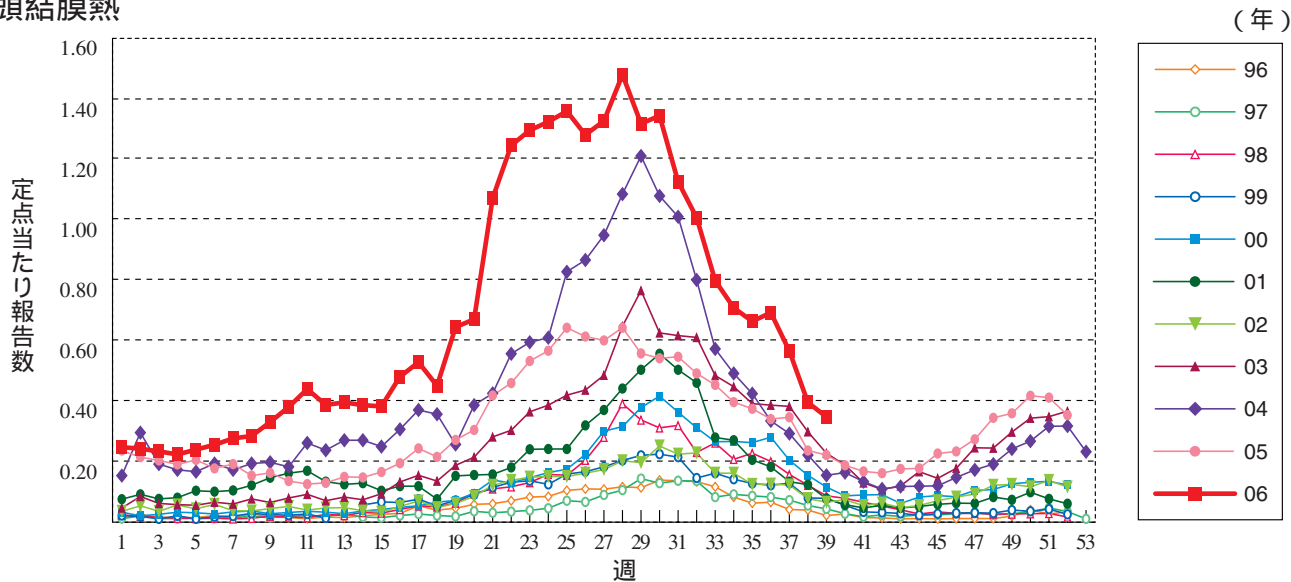
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(39週)

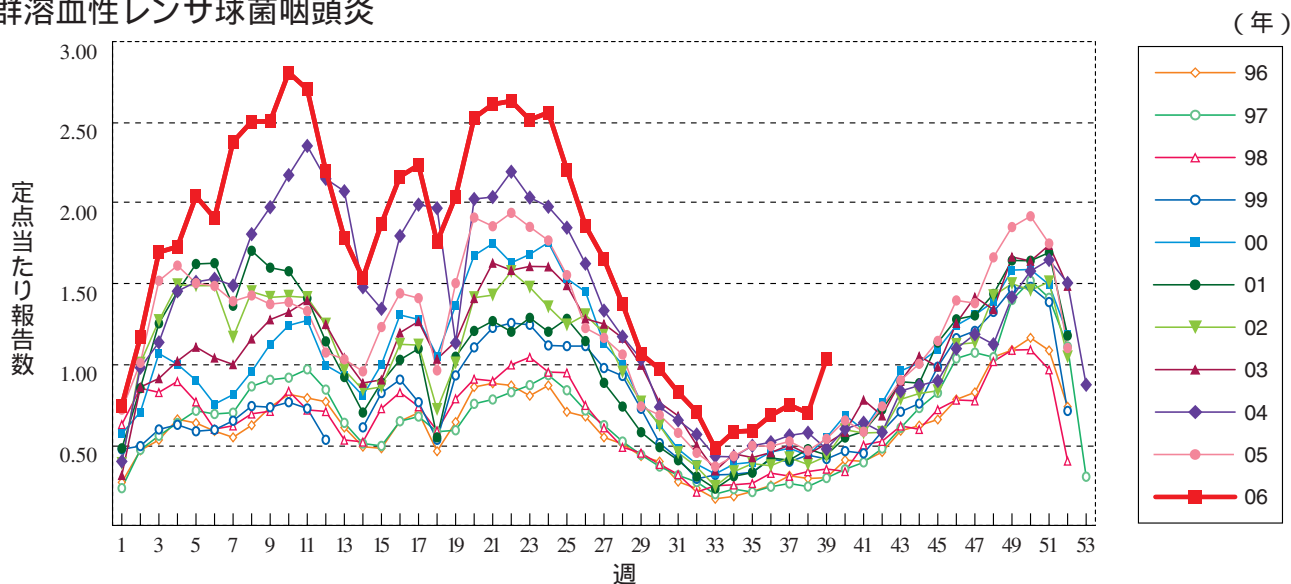
インフルエンザ



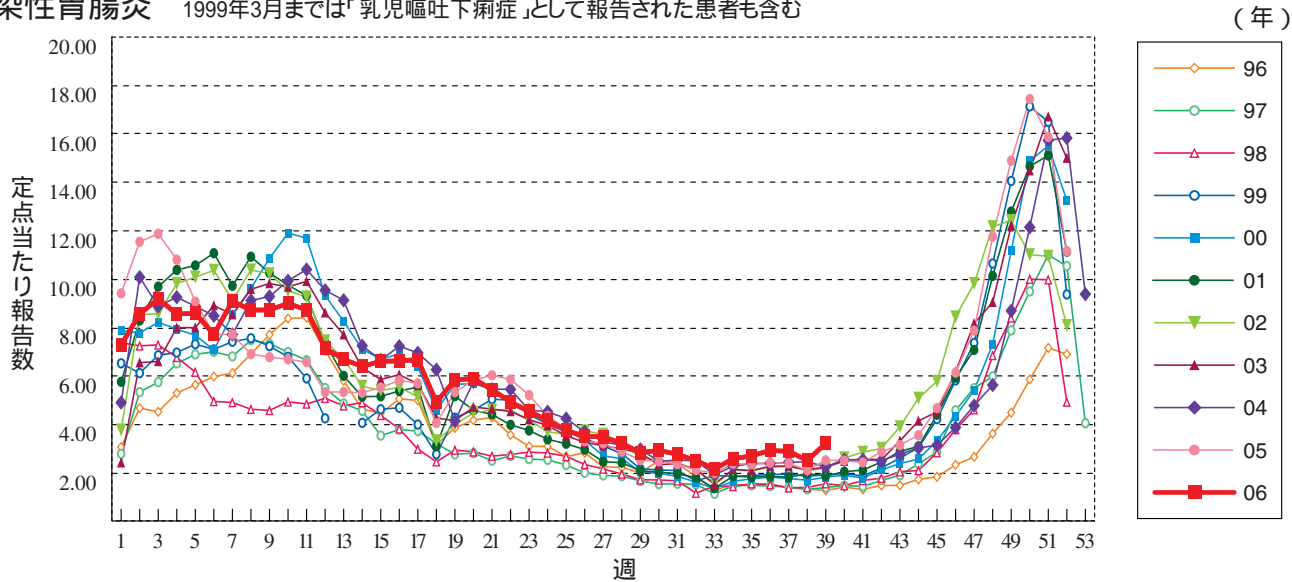
咽頭結膜熱



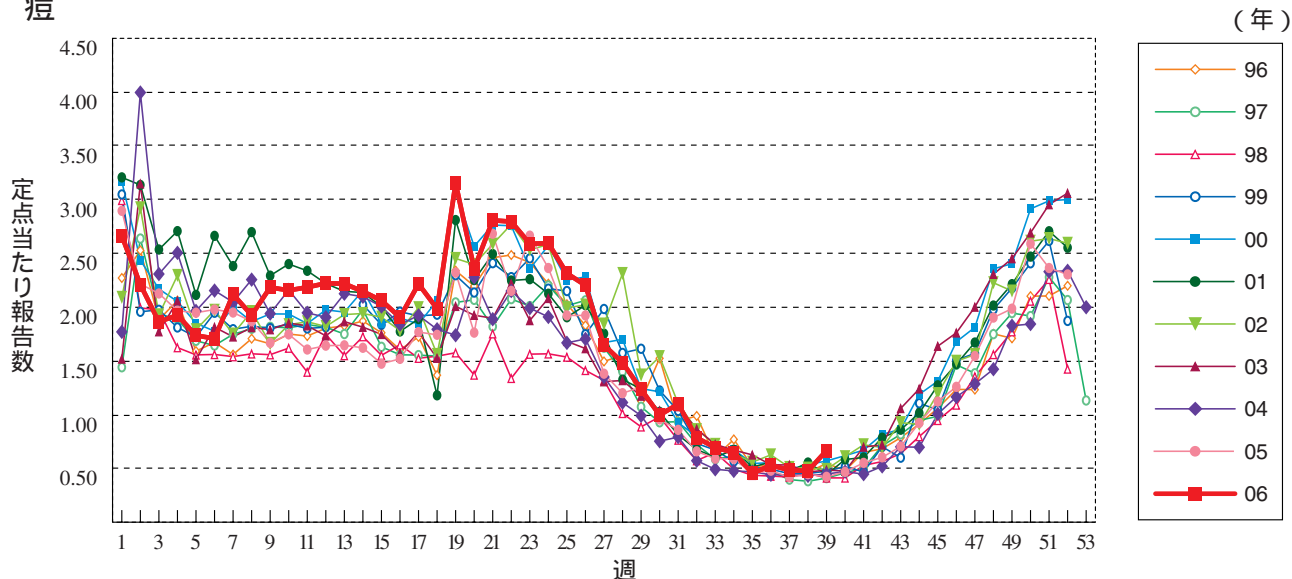
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



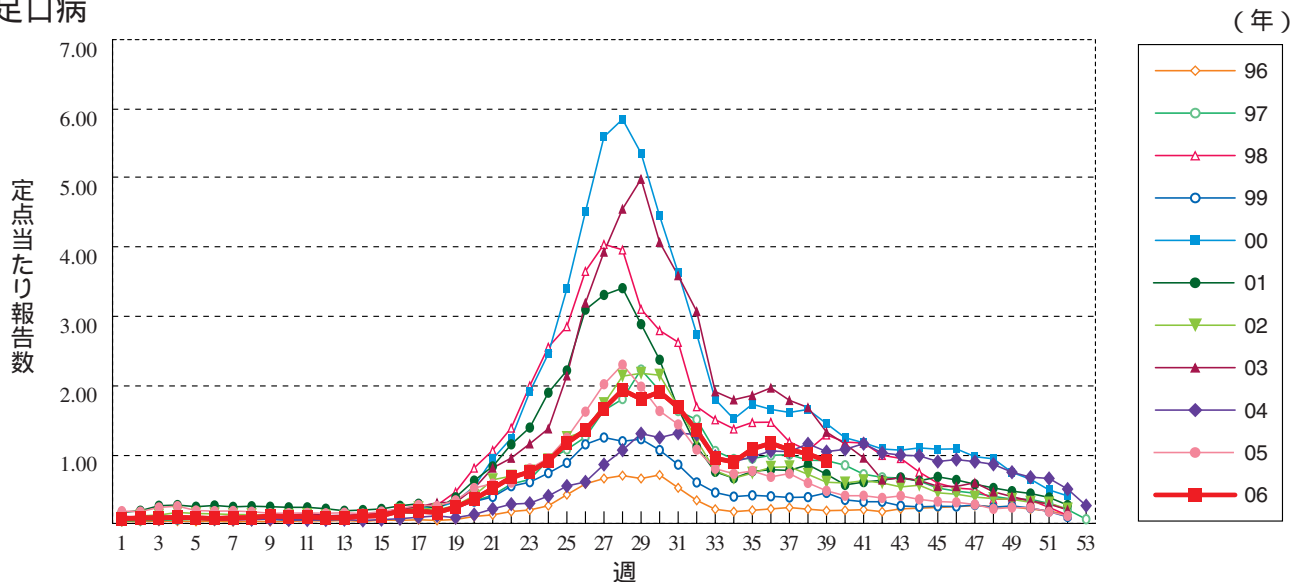
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



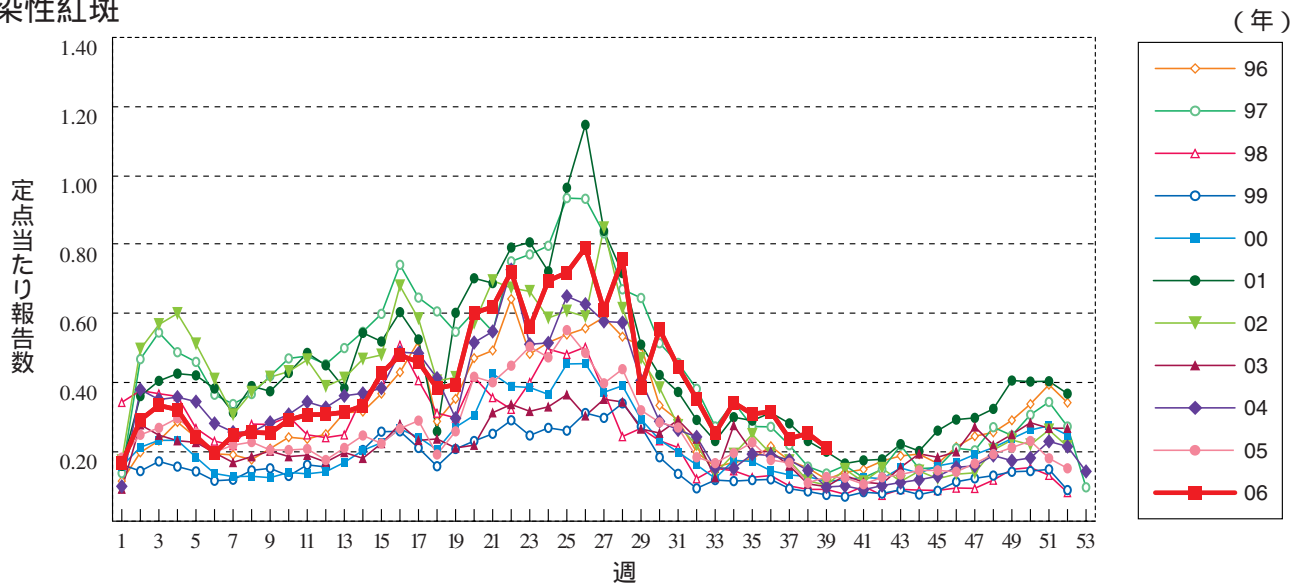
水痘



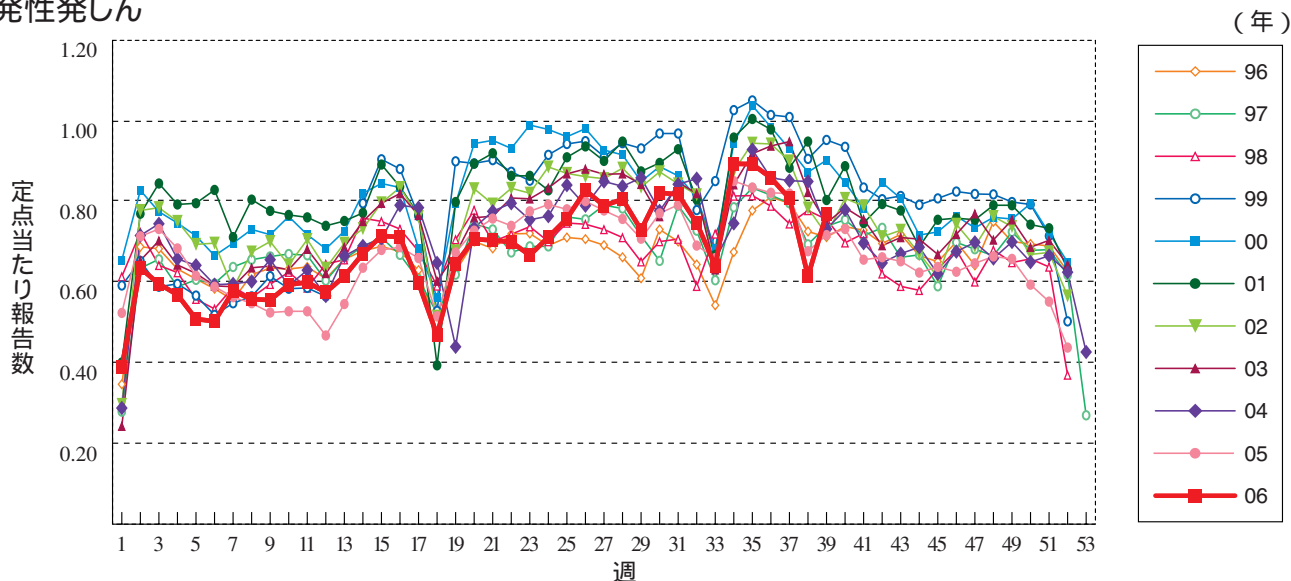
手足口病



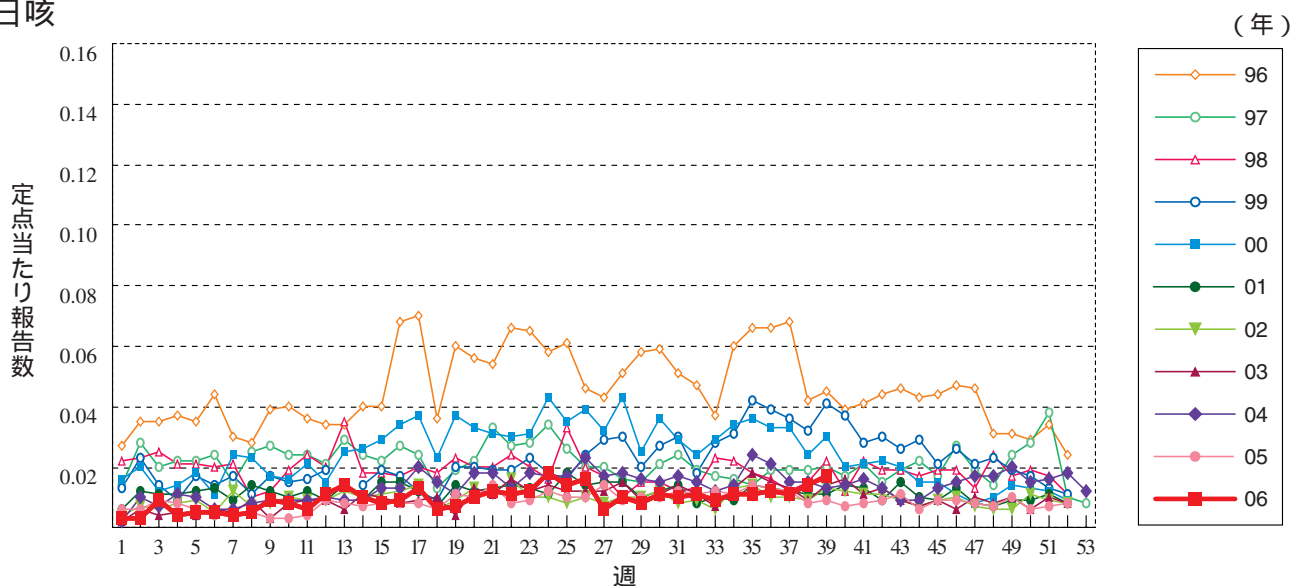
伝染性紅斑



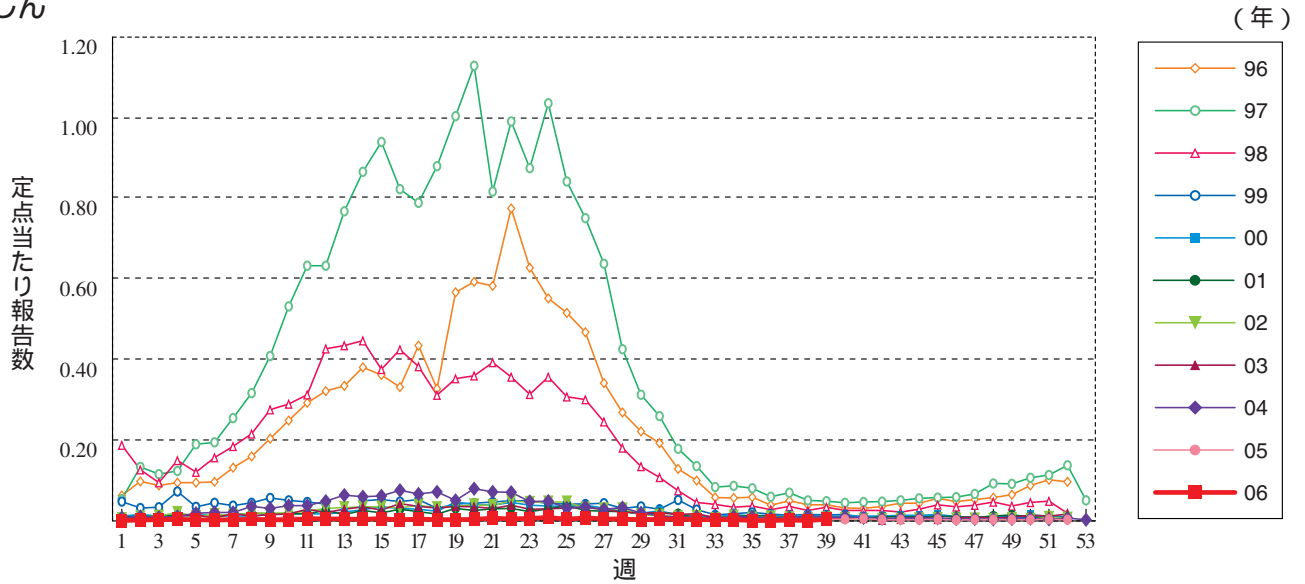
突発性発しん



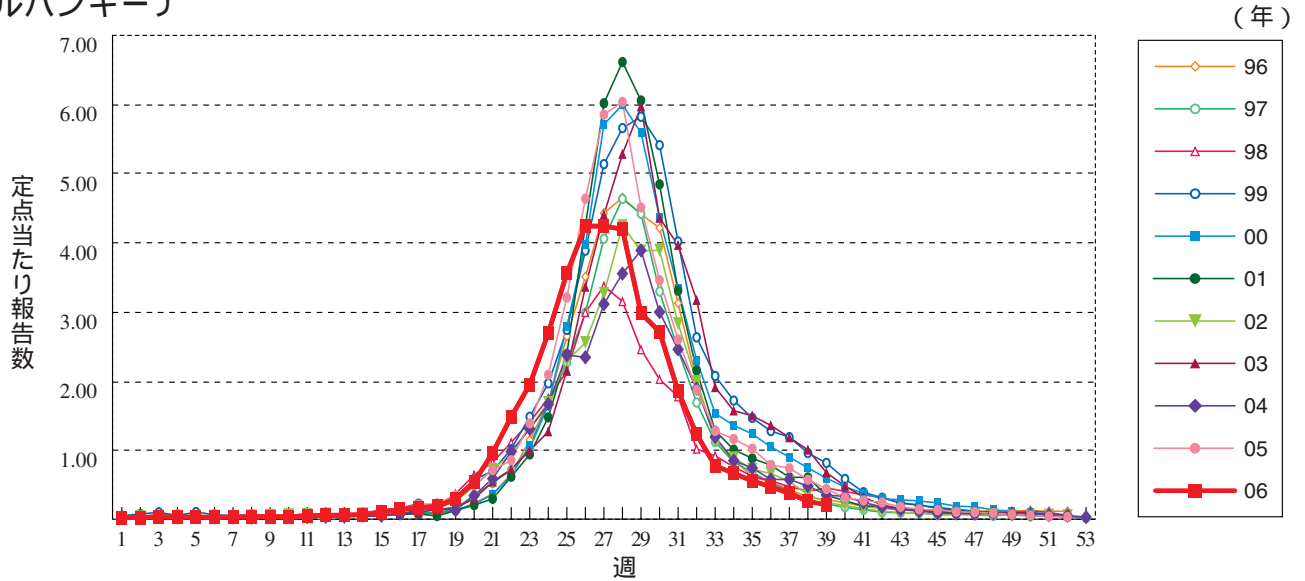
百日咳



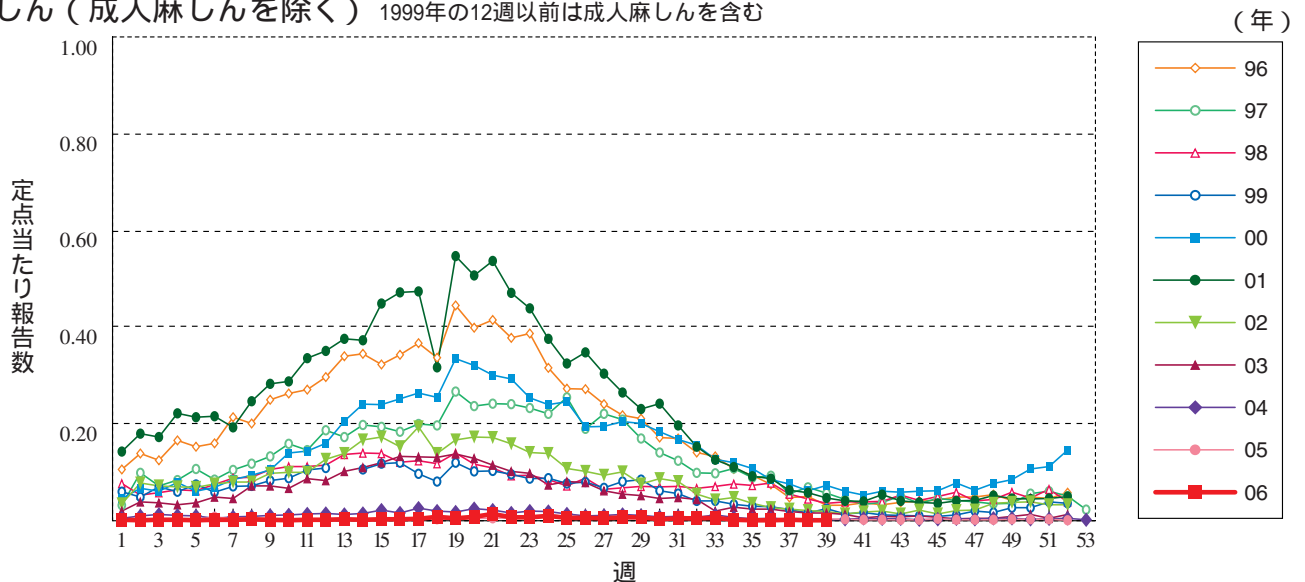
風しん



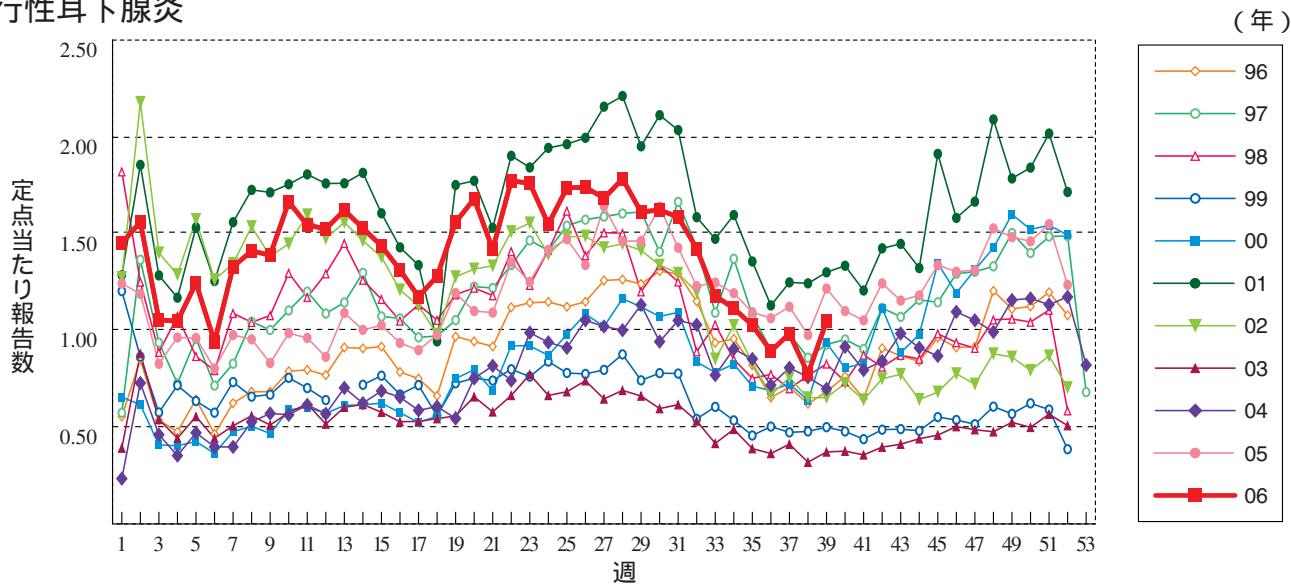
ヘルパンギーナ



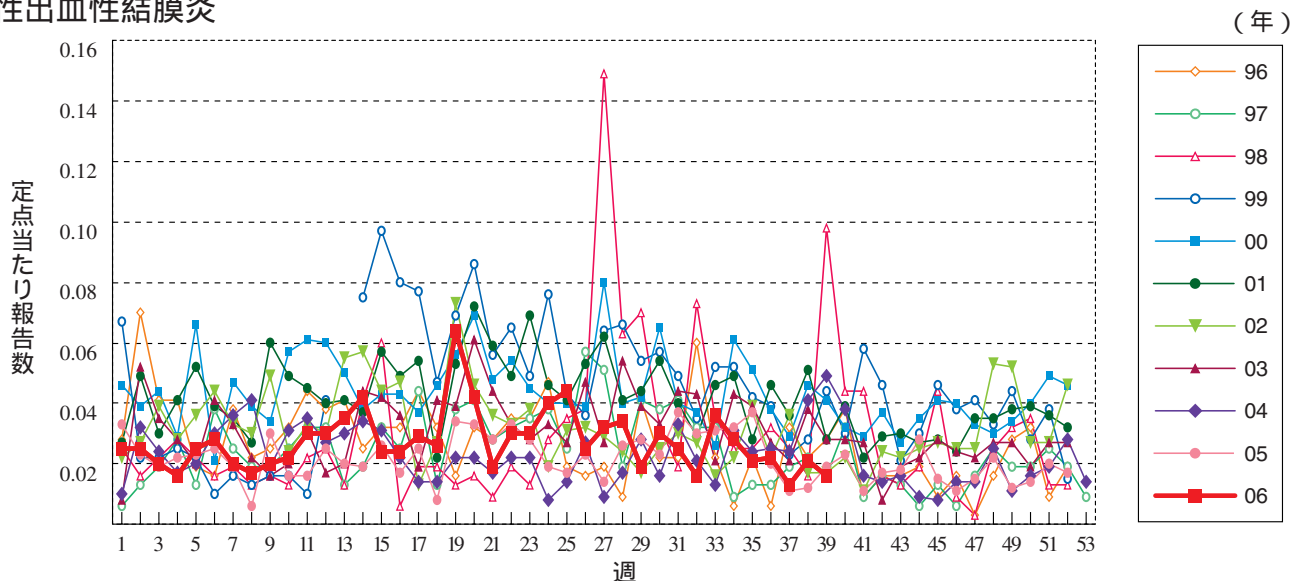
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



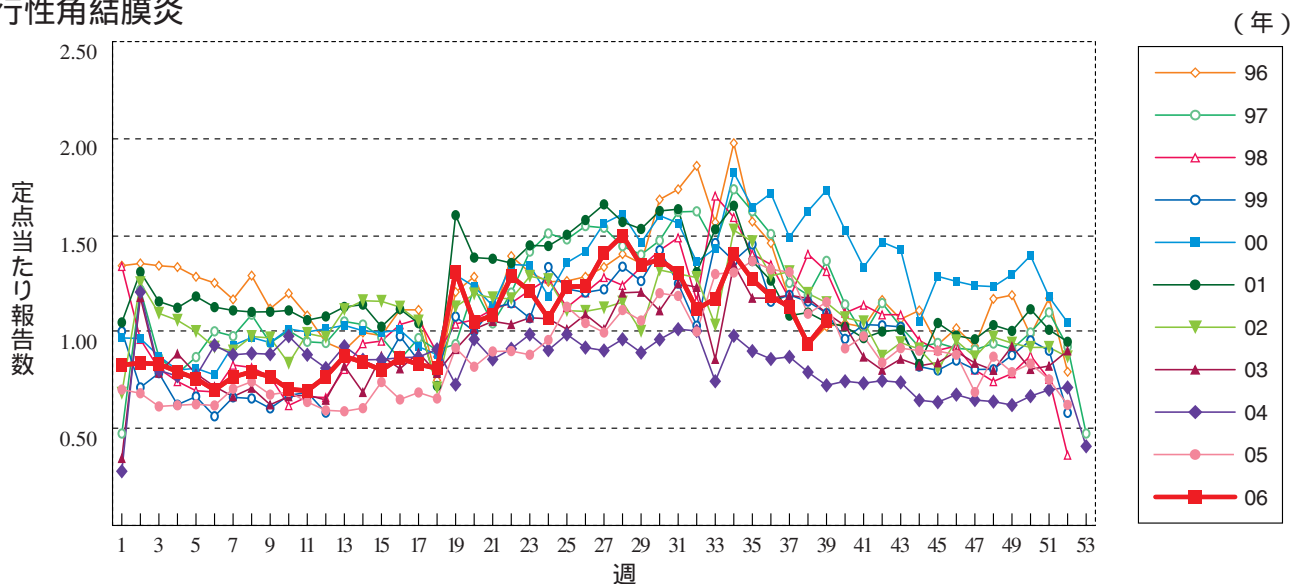
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

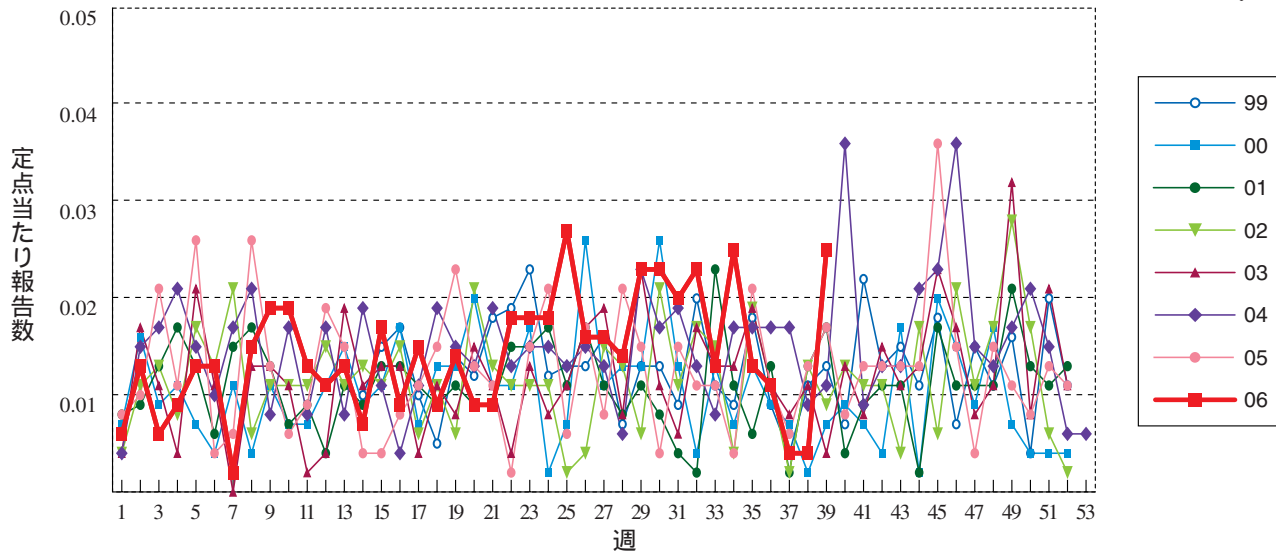


流行性角結膜炎



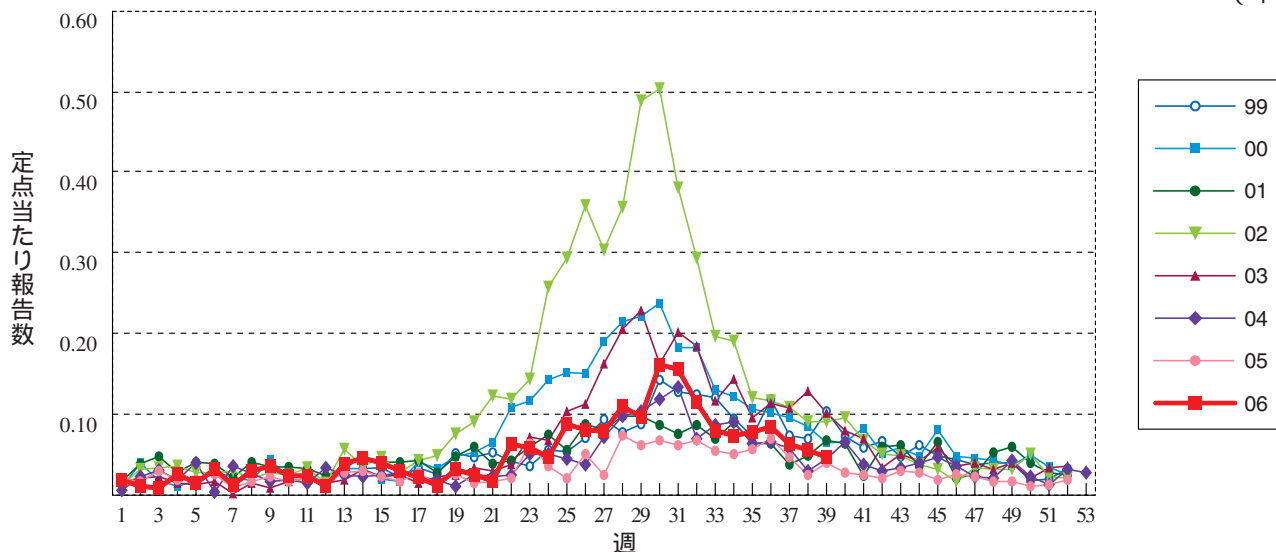
細菌性髄膜炎

(年)



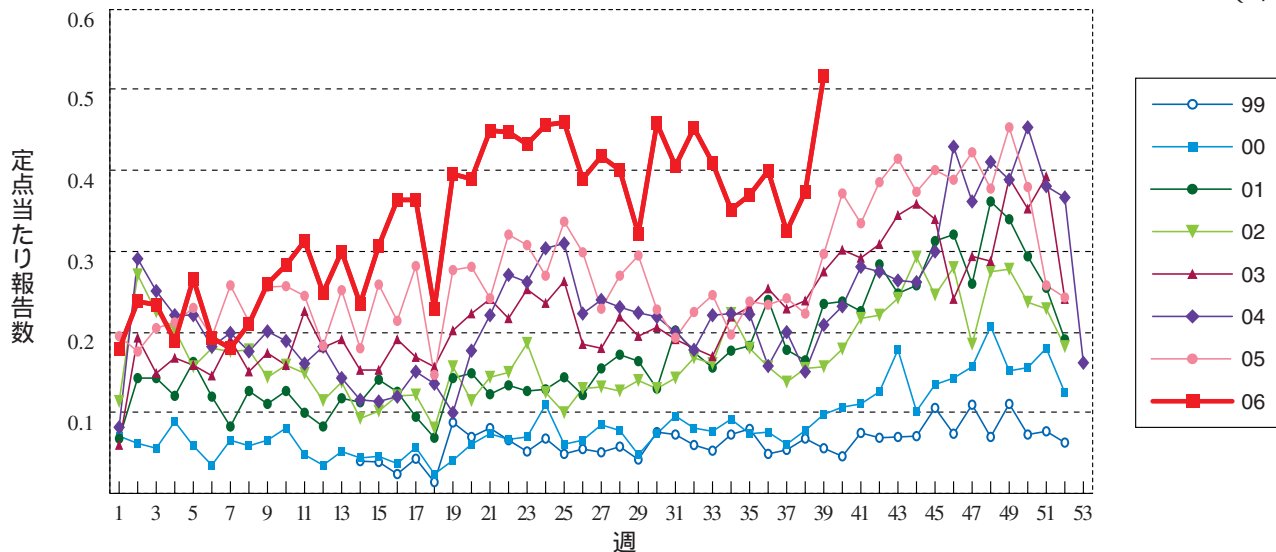
無菌性髄膜炎

(年)



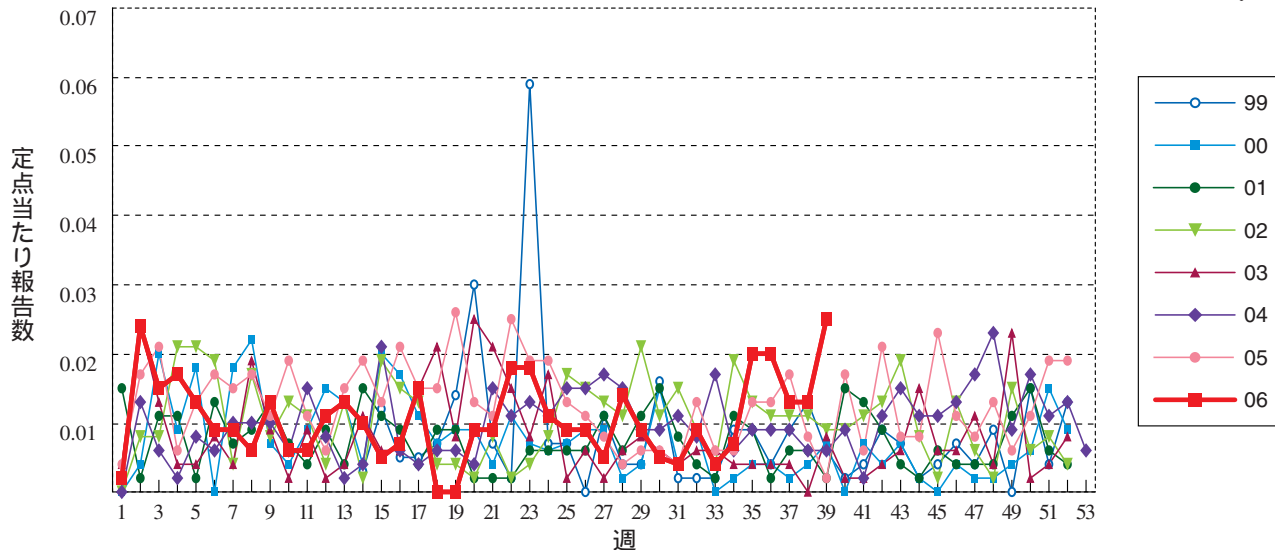
マイコプラズマ肺炎

(年)



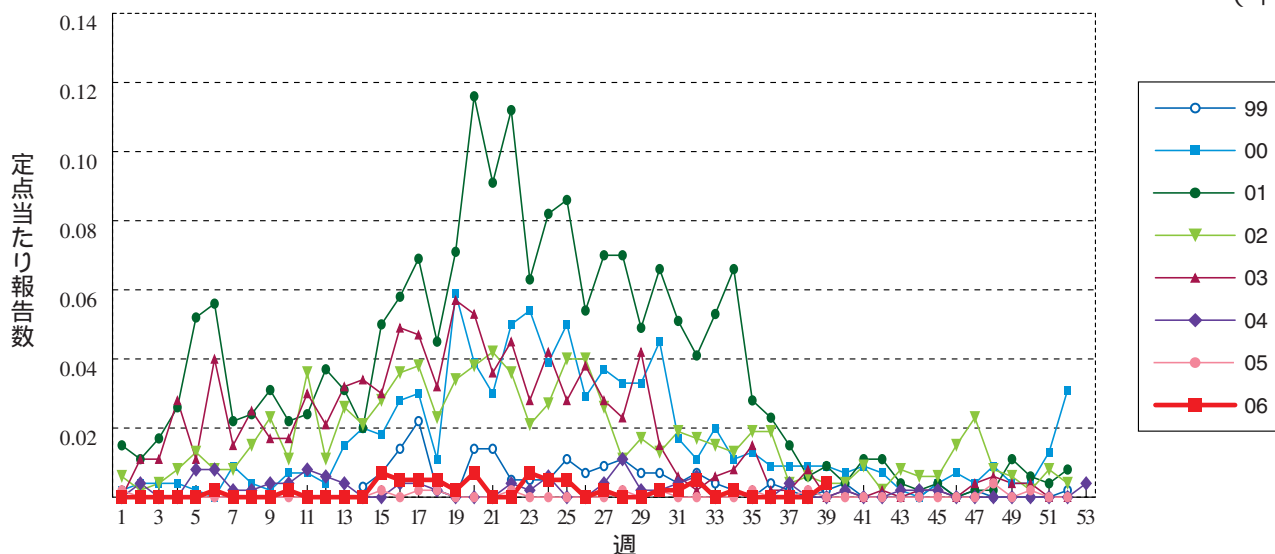
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



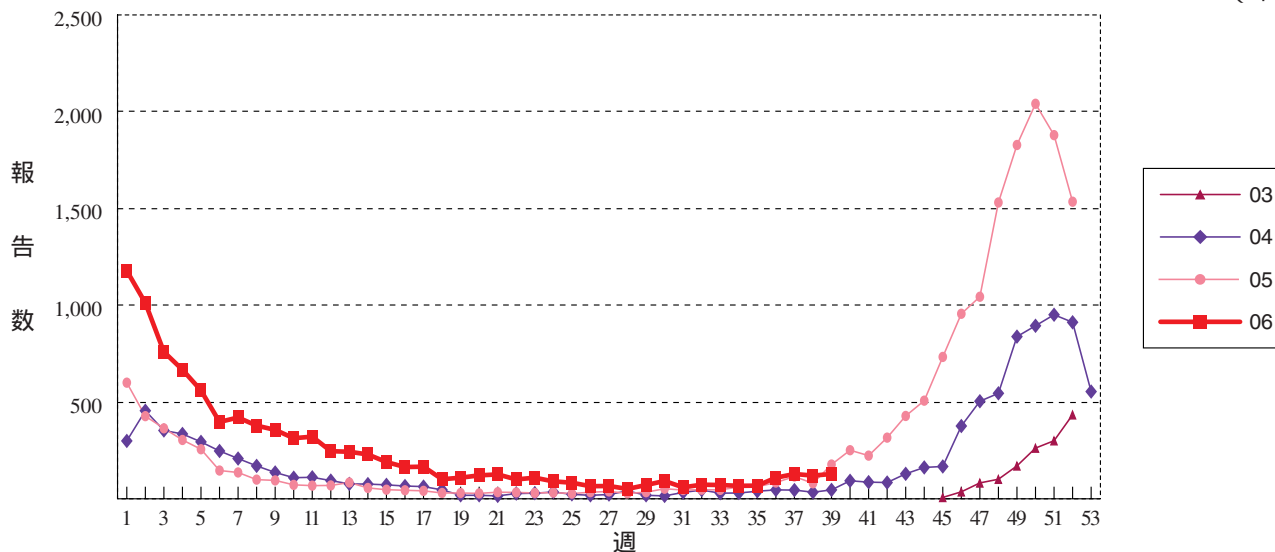
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





39週のデータ

注1)表中の報告数は10月5日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。
 注2)また報告システム変更の影響により、この「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。
 *病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2006年39週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	42
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年39週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	21	367	-	-	-	55	1	20	89	3119	1	54	-	-	3	281	-	18
北海道	-	2	-	-	-	-	-	-	2	57	-	15	-	-	-	13	-	17
青森県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	51	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	67	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	3	-	-	-	-	-	-	1	44	-	2	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	68	-	-	-	-	1	3	-	-
山形県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	1	-	-	3	27	-	1	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	13	-	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	3	120	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	9	-	-	-	4	-	-	-	84	-	-	-	-	-	10	-	-
千葉県	3	61	-	-	-	4	-	1	7	111	-	1	-	-	-	3	-	-
東京都	4	47	-	-	-	16	-	11	13	220	-	3	-	-	-	25	-	-
神奈川県	1	21	-	-	-	7	-	1	9	161	-	7	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	10	-	-	-	1	-	-	-	31	-	1	-	-	-	15	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	5	105	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	3	14	-	-	-	-	-	-	2	60	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	35	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	1	1	2	-	34	-	3	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	8	-	-
静岡県	2	5	-	-	-	1	-	-	6	87	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	2	24	-	-	-	5	-	2	7	170	-	3	-	-	1	16	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	30	-	-	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	40	-	1	-	-	1	21	-	-
京都府	-	2	-	-	-	1	-	-	1	73	1	3	-	-	-	9	-	-
大阪府	1	79	-	-	-	6	-	2	2	228	-	-	-	-	-	40	-	-
兵庫県	-	15	-	-	-	-	-	1	3	128	-	1	-	-	-	18	-	-
奈良県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103	-	1	-	-	-	14	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	2	83	-	1	-	-	-	7	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	39	-	1	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	43	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	1	6	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	1	21	-	-	-	2	-	-	2	150	-	1	-	-	-	8	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	74	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	56	-	-	-	-	-	8	-	-
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	73	-	5	-	-	-	3	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	8	104	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年39週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	16	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年39週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	2	178	2	40	-	-	-	27	1	2	-	-	-	-	1	4
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年39週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	1	2	-	47	-	-	-	8	-	-	11	375	-	10	14	570
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	2	17
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	2
宮城県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	9
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	1	23
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	28
東京都	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	1	50	-	4	3	146
神奈川県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	60
新潟県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	20	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	15	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	12	-	-	-	6
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	13
愛知県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	2	31	-	-	1	38
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	1	19
大阪府	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	-	71
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	15	-	1	2	32
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	1	4
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	1	1	6
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
 **ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年39週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	3	197	2	127	1	12	2	128	1	89	21	976	-	64	-	11	-	-
北海道	-	4	-	5	1	3	-	7	-	6	1	23	-	1	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
福島県	1	3	-	2	-	-	-	2	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	7	-	-	-	1	-	2	2	26	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	4	-	3	1	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	3	-	7	-	-	-	5	-	3	1	28	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	4	-	15	-	-	-	4	-	6	-	41	-	1	-	-	-	-
東京都	-	28	-	5	-	5	1	14	-	12	4	311	-	20	-	1	-	-
神奈川県	-	9	-	4	-	1	-	6	1	5	-	59	-	10	-	3	-	-
新潟県	-	-	1	3	-	-	-	5	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	-	1	-	1	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	2	-	-	-	4	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
長野県	-	8	-	-	-	-	-	3	-	1	3	22	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	2	-	-	-	4	-	5	-	17	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	8	-	8	-	-	-	6	-	8	2	77	-	2	-	1	-	-
三重県	-	9	-	3	-	-	-	2	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	7	-	1	-	-	-	-
京都府	-	5	-	-	-	-	-	4	-	2	-	26	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	19	-	10	-	1	-	9	-	5	1	108	-	10	-	1	-	-
兵庫県	-	22	-	4	-	-	-	4	-	7	1	41	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	11	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	-	4	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-
広島県	-	6	-	10	-	-	-	4	-	-	1	10	-	1	-	-	-	-
山口県	-	2	-	1	-	-	-	4	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	4	-	1	-	1	-	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
高知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	8	-	9	-	-	-	6	-	-	3	28	-	3	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	8	-	-	-	-	-	1	3	-	-	3	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	3	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年39週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	5	457	1	87	-	-	-	52	-	-
北海道	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	4	-	1	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	5	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	11	-	7	-	-	-	2	-	-
東京都	1	98	1	7	-	-	-	10	-	-
神奈川県	-	15	-	4	-	-	-	7	-	-
新潟県	-	4	-	3	-	-	-	2	-	-
富山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-
静岡県	-	9	-	2	-	-	-	4	-	-
愛知県	-	33	-	4	-	-	-	-	-	-
三重県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	6	-	1	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	28	-	2	-	-	-	3	-	-
兵庫県	1	19	-	2	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	-	4	-	-	-	1	-	-
広島県	1	7	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	1	24	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	26	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	31	-	5	-	-	-	1	-	-
大分県	-	6	-	3	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	6	-	5	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	16	-	5	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年39週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	36	0.01	1048	0.35	3109	1.03	9657	3.21	2007	0.67	2726	0.91	641	0.21	2319	0.77	51	0.02
北海道	1	0.00	40	0.28	312	2.18	225	1.57	85	0.59	281	1.97	23	0.16	79	0.55	2	0.01
青森県	-	-	1	0.02	20	0.40	49	0.98	36	0.72	16	0.32	10	0.20	31	0.62	-	-
岩手県	-	-	-	-	23	0.59	73	1.87	22	0.56	16	0.41	5	0.13	25	0.64	-	-
宮城県	1	0.01	7	0.11	45	0.74	186	3.05	54	0.89	28	0.46	30	0.49	86	1.41	-	-
秋田県	-	-	29	0.83	44	1.26	89	2.54	18	0.51	38	1.09	4	0.11	21	0.60	-	-
山形県	-	-	19	0.63	55	1.83	43	1.43	34	1.13	52	1.73	8	0.27	14	0.47	-	-
福島県	-	-	18	0.38	121	2.52	143	2.98	33	0.69	52	1.08	6	0.13	38	0.79	1	0.02
茨城県	1	0.02	36	0.48	119	1.59	145	1.93	42	0.56	32	0.43	21	0.28	40	0.53	-	-
栃木県	-	-	3	0.07	26	0.57	66	1.43	26	0.57	40	0.87	13	0.28	32	0.70	1	0.02
群馬県	1	0.01	15	0.24	70	1.13	195	3.15	77	1.24	53	0.85	10	0.16	52	0.84	-	-
埼玉県	1	0.00	53	0.33	170	1.05	544	3.36	160	0.99	248	1.53	42	0.26	121	0.75	2	0.01
千葉県	-	-	39	0.32	128	1.06	301	2.49	82	0.68	57	0.47	33	0.27	88	0.73	13	0.11
東京都	-	-	27	0.19	144	1.02	430	3.05	75	0.53	132	0.94	30	0.21	94	0.67	-	-
神奈川県	-	-	53	0.27	215	1.09	574	2.90	102	0.52	224	1.13	39	0.20	192	0.97	-	-
新潟県	-	-	35	0.57	88	1.44	108	1.77	22	0.36	215	3.52	8	0.13	50	0.82	-	-
富山県	-	-	16	0.55	27	0.93	116	4.00	13	0.45	55	1.90	4	0.14	19	0.66	-	-
石川県	-	-	10	0.34	33	1.14	124	4.28	30	1.03	90	3.10	2	0.07	15	0.52	-	-
福井県	-	-	3	0.14	25	1.14	115	5.23	23	1.05	13	0.59	7	0.32	16	0.73	-	-
山梨県	1	0.03	3	0.13	9	0.38	41	1.71	9	0.38	29	1.21	4	0.17	6	0.25	-	-
長野県	-	-	44	0.80	74	1.35	131	2.38	55	1.00	151	2.75	12	0.22	36	0.65	3	0.05
岐阜県	4	0.05	16	0.30	23	0.43	83	1.57	45	0.85	28	0.53	25	0.47	23	0.43	3	0.06
静岡県	-	-	47	0.55	86	1.00	527	6.13	53	0.62	89	1.03	28	0.33	89	1.03	2	0.02
愛知県	-	-	57	0.31	157	0.86	498	2.74	113	0.62	93	0.51	72	0.40	143	0.79	2	0.01
三重県	-	-	36	0.80	45	1.00	246	5.47	37	0.82	39	0.87	12	0.27	38	0.84	-	-
滋賀県	-	-	7	0.23	12	0.39	42	1.35	10	0.32	42	1.35	6	0.19	16	0.52	-	-
京都府	-	-	5	0.07	70	0.97	243	3.38	38	0.53	33	0.46	19	0.26	27	0.38	2	0.03
大阪府	4	0.02	77	0.42	221	1.19	661	3.57	120	0.65	103	0.56	31	0.17	161	0.87	3	0.02
兵庫県	1	0.01	27	0.21	91	0.71	416	3.25	76	0.59	69	0.54	21	0.16	117	0.91	4	0.03
奈良県	-	-	17	0.49	23	0.66	69	1.97	27	0.77	16	0.46	1	0.03	23	0.66	-	-
和歌山県	-	-	17	0.55	18	0.58	51	1.65	18	0.58	28	0.90	6	0.19	23	0.74	2	0.06
鳥取県	-	-	14	0.74	43	2.26	108	5.68	8	0.42	6	0.32	1	0.05	20	1.05	-	-
島根県	-	-	5	0.22	20	0.87	111	4.83	24	1.04	7	0.30	4	0.17	28	1.22	-	-
岡山県	3	0.04	13	0.24	13	0.24	163	3.02	37	0.69	12	0.22	3	0.06	29	0.54	2	0.04
広島県	-	-	18	0.25	79	1.10	344	4.78	31	0.43	10	0.14	15	0.21	49	0.68	1	0.01
山口県	-	-	13	0.27	89	1.82	217	4.43	10	0.20	18	0.37	7	0.14	49	1.00	-	-
徳島県	-	-	6	0.32	17	0.89	26	1.37	23	1.21	-	-	2	0.11	15	0.79	3	0.16
香川県	-	-	7	0.22	13	0.41	81	2.53	9	0.28	7	0.22	2	0.06	22	0.69	-	-
愛媛県	2	0.03	4	0.11	29	0.78	178	4.81	19	0.51	21	0.57	6	0.16	42	1.14	1	0.03
高知県	-	-	23	0.77	13	0.43	65	2.17	10	0.33	10	0.33	1	0.03	25	0.83	1	0.03
福岡県	-	-	43	0.36	105	0.88	564	4.70	86	0.72	55	0.46	17	0.14	92	0.77	3	0.03
佐賀県	-	-	4	0.17	10	0.43	46	2.00	4	0.17	4	0.17	5	0.22	28	1.22	-	-
長崎県	3	0.04	26	0.59	14	0.32	112	2.55	29	0.66	7	0.16	11	0.25	33	0.75	-	-
熊本県	1	0.01	19	0.40	29	0.60	324	6.75	24	0.50	31	0.65	2	0.04	44	0.92	-	-
大分県	1	0.02	35	0.97	59	1.64	229	6.36	39	1.08	31	0.86	5	0.14	46	1.28	-	-
宮崎県	4	0.07	29	0.78	44	1.19	222	6.00	56	1.51	41	1.11	17	0.46	42	1.14	-	-
鹿児島県	1	0.01	24	0.43	26	0.46	206	3.68	54	0.96	39	0.70	9	0.16	24	0.43	-	-
沖縄県	6	0.10	8	0.24	12	0.35	127	3.74	9	0.26	65	1.91	2	0.06	16	0.47	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年39週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	11	0.00	624	0.21	4	0.00	3151	1.05	10	0.02	672	1.06	11	0.02	21	0.05	232	0.52
北海道	-	-	79	0.55	-	-	103	0.72	-	-	19	0.66	-	-	2	0.10	1	0.05
青森県	-	-	8	0.16	-	-	49	0.98	-	-	8	0.62	-	-	-	-	8	1.14
岩手県	-	-	11	0.28	-	-	35	0.90	-	-	7	0.58	-	-	-	-	11	0.55
宮城県	-	-	47	0.77	-	-	66	1.08	-	-	3	0.25	1	0.08	-	-	10	0.83
秋田県	-	-	12	0.34	-	-	17	0.49	-	-	2	0.29	-	-	-	-	5	0.63
山形県	-	-	7	0.23	-	-	26	0.87	-	-	3	0.38	-	-	-	-	3	0.30
福島県	-	-	17	0.35	-	-	48	1.00	-	-	7	0.58	-	-	-	-	7	1.17
茨城県	-	-	14	0.19	-	-	47	0.63	2	0.13	26	1.73	-	-	-	-	9	1.29
栃木県	-	-	6	0.13	-	-	58	1.26	-	-	34	2.83	-	-	-	-	2	0.29
群馬県	-	-	16	0.26	-	-	92	1.48	-	-	43	3.07	1	0.13	-	-	12	1.50
埼玉県	-	-	47	0.29	-	-	134	0.83	-	-	30	0.77	-	-	-	-	15	1.67
千葉県	-	-	9	0.07	-	-	69	0.57	-	-	25	0.76	-	-	-	-	8	1.00
東京都	-	-	26	0.18	1	0.01	79	0.56	-	-	10	0.71	1	0.04	2	0.08	4	0.17
神奈川県	-	-	43	0.22	1	0.01	127	0.64	1	0.02	58	1.41	1	0.11	1	0.11	9	1.00
新潟県	-	-	13	0.21	-	-	223	3.66	-	-	8	0.80	1	0.09	1	0.09	12	1.09
富山県	-	-	4	0.14	-	-	31	1.07	1	0.14	9	1.29	-	-	-	-	8	1.60
石川県	-	-	5	0.17	-	-	19	0.66	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	2	0.09	-	-	1	0.05	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.33
山梨県	3	0.13	1	0.04	-	-	35	1.46	-	-	6	0.75	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	15	0.27	-	-	109	1.98	-	-	21	1.91	-	-	1	0.09	1	0.09
岐阜県	-	-	6	0.11	-	-	25	0.47	-	-	7	0.70	-	-	-	-	3	0.60
静岡県	-	-	22	0.26	-	-	118	1.37	-	-	9	0.45	-	-	-	-	7	0.70
愛知県	-	-	32	0.18	-	-	183	1.01	-	-	29	0.83	2	0.15	2	0.15	4	0.31
三重県	-	-	10	0.22	-	-	79	1.76	-	-	8	0.67	-	-	-	-	3	0.38
滋賀県	-	-	1	0.03	-	-	16	0.52	-	-	2	0.33	-	-	1	0.14	-	-
京都府	-	-	10	0.14	-	-	37	0.51	-	-	16	0.94	-	-	1	0.14	1	0.14
大阪府	1	0.01	35	0.19	-	-	207	1.12	-	-	25	0.56	1	0.10	3	0.30	23	2.30
兵庫県	1	0.01	22	0.17	2	0.02	219	1.71	1	0.03	29	0.85	1	0.08	2	0.17	3	0.25
奈良県	-	-	-	-	-	-	11	0.31	-	-	3	0.33	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	29	0.94	-	-	3	0.75	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	3	0.16	-	-	19	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	3	0.13	-	-	47	2.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	4	0.07	2	0.04	-	-	89	1.65	-	-	17	1.42	-	-	-	-	5	1.00
広島県	-	-	3	0.04	-	-	28	0.39	-	-	23	1.21	-	-	-	-	13	0.62
山口県	-	-	5	0.10	-	-	57	1.16	-	-	7	0.78	1	0.11	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	-	-	-	-	27	1.42	-	-	6	1.50	-	-	-	-	-	-
香川県	2	0.06	2	0.06	-	-	35	1.09	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	6	0.16	-	-	26	0.70	-	-	53	6.63	-	-	-	-	3	0.50
高知県	-	-	9	0.30	-	-	42	1.40	-	-	4	1.33	-	-	-	-	3	0.43
福岡県	-	-	19	0.16	-	-	111	0.93	1	0.04	28	1.08	-	-	-	-	7	0.47
佐賀県	-	-	6	0.26	-	-	13	0.57	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	-	-	7	0.16	-	-	14	0.32	-	-	10	1.25	-	-	-	-	4	0.33
熊本県	-	-	13	0.27	-	-	36	0.75	-	-	22	2.44	1	0.07	1	0.07	1	0.07
大分県	-	-	8	0.22	-	-	55	1.53	-	-	3	0.60	-	-	-	-	4	0.36
宮崎県	-	-	5	0.14	-	-	85	2.30	4	1.00	15	3.75	-	-	-	-	2	0.29
鹿児島県	-	-	2	0.04	-	-	159	2.84	-	-	10	1.43	-	-	2	0.17	4	0.33
沖縄県	-	-	10	0.29	-	-	16	0.47	-	-	13	1.30	-	-	-	-	5	0.71

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2006年39週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	11	0.02	2	0.00	128
北海道	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.17	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	6
群馬県	1	0.13	-	-	-
埼玉県	1	0.11	-	-	1
千葉県	1	0.13	-	-	2
東京都	1	0.04	-	-	11
神奈川県	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	1
石川県	2	0.40	-	-	2
福井県	1	0.17	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	10
兵庫県	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	1	0.20	-	-	2
広島県	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	35
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	11
大分県	-	-	-	-	7
宮崎県	-	-	-	-	5
鹿児島県	1	0.08	-	-	-
沖縄県	-	-	2	0.29	11

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年39週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2006年39週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第8巻 第39号 2006年10月16日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。